



月刊「ワークホームだより」1月号

発行:2021年 12月 24日 発行者:ワークホーム高砂
〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331 TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111
http://workhome-takasago.org/ E-mail workhome@nifty.com



「納豆工房なっとこちゃん」自立への歩み！



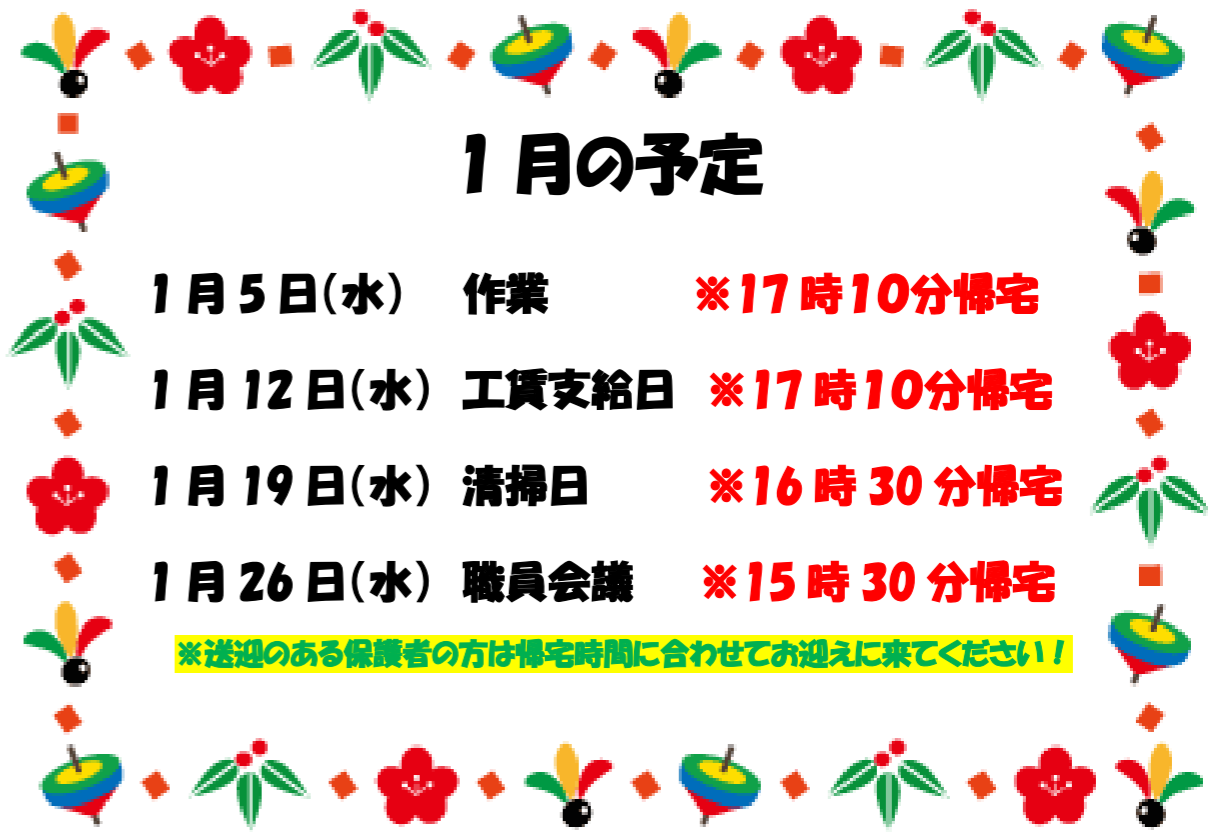
ワークホーム高砂施設長 齋藤克己

2022年1月1日、「納豆工房なっとこちゃん」は独立した一つの事業所として、その歩みを始めます。これまでは、ワークホーム高砂の一部として運営してきましたが、いよいよ自立への歩みをスタートさせることとなります。最初は定員10名の小さな「生活介護事業所」からスタートし、利用者のニーズを見ながら就労継続B型事業所を併設して多機能型事業所を目指すことにしています。

振り返りますと、「納豆工房」の歴史は、元理事で法人あかりの家の設立に中心に関わった故今津房子さんの納豆づくりからはじまっています。今津さんは、私的に立ち上げたグループホーム希望山荘日笠の運営費を捻出するために納豆づくりを始めたと聞いています。今津さんの故郷である北海道幕別町農協から大豆を仕入れ、福崎町にある(株)相沢食産の相沢社長から基本のノウハウを教わり、使わなくなった家庭用冷蔵庫や知り合いの方から譲り受けたパン用発酵機を再利用して製造を始めたのでした。備品で純粋に投資したのは圧力釜だけで、大豆の保管には廃棄寸前の冷蔵車用コンテナを活用したのでした。ちなみに、そのコンテナは現在ワークホームの駐車場に設置し、一輪車や鍬などの農機具用倉庫に再活用させてもらっています。

ワークホームとして納豆製造と販売に取り組み始めたのは2013年度からで、今津さんのノウハウを伝授していただくところからスタートしたのでした。当初は、納豆の品質が安定せず「ねばらない納豆！納豆らしくない納豆」などと揶揄されることも少なくありませんでした。しかし、あれから10年近くが経過し、昨年には新たな作業場である「納豆工房なっとこちゃん」が立ち上がり、製造のための様々な備品が整い、利用者・職員の努力もあって品質は安定してきました。そして、売り上げについてはヤマダストアさんのご協力もあり、順調に伸びて来ています。

こうした先人達の積み上げた努力と成果をしっかりと心に刻み、前を向いて自立への歩みを進めたいと思います。まだまだ独り立ちするには難しい面がたくさんあり、ワークホームの職員が兼務しながらの運営となります。長谷川副園長が管理者として常駐し運営と経営に全面的に関わってくれることになっています。どうか、保護者のみな様方、関係者の方々のご支援とご協力をこれからもよろしくお願いします。



1月の予定

- 1月5日(水) 作業 ※17時10分帰宅
- 1月12日(水) 工賃支給日 ※17時10分帰宅
- 1月19日(水) 清掃日 ※16時30分帰宅
- 1月26日(水) 職員会議 ※15時30分帰宅

※送迎のある保護者の方は帰宅時間に合わせてお迎えに来てください！



ブラッシング指導



12月16日、加古川歯科保健センター歯科衛生士によるブラッシング指導が行われました。歯科衛生士と協力しながら、新型コロナウイルス等の感染予防対策を講じた上でブラッシング指導を行いました。歯科衛生士からは、利用者さんに対して、「力を入れすぎないように」「奥歯も磨きましょう」などと個別に指導を受け、利用者さんも熱心に聞いておられました。

利用者一人ひとりを見てみると、できるところと、できないところ様々です。歯の状態が悪いと、今後の食生活にも影響がでます。また、毎日の歯磨きは感染症対策の一つにもなりますので、ご家庭でも声掛けなど宜しくお願いします。

(久木原)

全国自閉症支援者協会の研修に参加して！！

12月8日、9日と2日間にかけて、全自者協滋賀 web 大会に施設長、長谷川副施設長、楠課長補佐、桂の4人で参加しました。鳥取大学医学系研究科の井上雅彦先生の「行動上の問題に対するアセスメント」や、あいち発達障害者支援センターの吉川徹先生の「『発達障害』のある人が感じる世界」をはじめ、ほかにも災害対策とBCPに関連する講義などもあり、今後より質の高い事業所になるためのヒントがたくさんあったように思います。また、あかりの家からの実践報告もあり大変参考となる内容で、いつかワークからも実践報告をしたいと思いました。(桂)



研修を受けている齋藤施設長と長谷川副施設長、楠課長補佐

今月の担当は花岡と桂でした。

なっとこちゃん情報

佐用町訪問

12月15日に兵庫西農業協同組合に佐用もち大豆を引き取りに行ってきました。農協の副センター長を務められている小寺様とお話をする中で12月23日(木)24日(金)の両日に姫路フェスタの販売会にお誘い頂きました。また、いつもお世話になっている㈱元気工房さよう様も訪問させていただき、納豆の販売を行っているJR上月駅にある「ふれあいの里 上月」さんへも訪問し販売員の方に「よく出てますよ。」と嬉しい声もかけていただきました。元気工房からふれあいの里への道中、運よく大豆の収穫をしている農家さんに出会いお話しすることもできました。原材料を提供していただく方と顔を見ながら話すことができ、とても有意義な一日となりました。(楠)



ひょうご福祉事業所フェスティバルへ参加

12月11日(土)、12日(日)の2日間に渡り神戸ハーバーランドスペースシアターで「ひょうご福祉事業所フェスティバル」が開催されました。「頑張る障がい者にエールを」を合言葉に神戸新聞厚生事業団様が主体となり今年初めて開催されました。2日間で64事業所が参加し、納豆工房 なっとこちゃんは両日とも参加させていただきました。来場者数は2000名を超えたとのことですが、阪神間ではまだまだ知名度の低い「なっとこちゃん」を少しでも知っていただきと思い宣伝してきました。また、他の事業所さんの商品を見たり、話をすることで新しいアイデアを頂いたり、コラボのお話を頂いたり刺激の多い2日間となりました。(楠)

2年間お疲れ様でした!!

この度、出産をされる関係で12月末を持ってパート職員の森蔭さんが退職されます。森蔭さんには2020年3月から納豆作業を支えていただき、本当にありがとうございました。子育てが落ち着いて納豆工房に戻ってきてくれる日を楽しみにしています。



この度、12月末をもって退職することになりました。約2年間、大変お世話になり、ありがとうございました。(森蔭)



今年もクリスマス会を実施



12月22日(水)にクリスマス会を実施することが出来ました。今年も昨年と同様にワークホームと納豆工房で別々に実施し、それぞれの施設にサンタに扮した職員がお弁当とドーナツ、ストラップを運びました。今年もお弁当(梅はらお弁当)とドーナツは、保護者会から提供していただき、ストラップに関しては光宗さんのお母さんから提供していただきました。職員に関しては、親睦会から梅はら弁当を提供していただきました。このように沢山の皆様のご協力のもとでイベントが出来ていることを感謝しながら、また来年も楽しいイベントが増えるようになればと願っています。(桂)



ワークホーム周辺の清掃を行いました

12月9日と12月16日、工場周辺のわたぼこりの清掃を利用者と職員で行いました。洗濯場の廃棄ダクトからほこりが周囲に飛散し、周辺に迷惑をかけていました。毎日のクリーニング作業に追われ、つい周囲への配慮に欠けていたと反省しています。これからは、周囲への気配りを忘れず定期的に掃除をすることにしています。(吉中)



月刊「ワークホームだより」2月号

発行:2022年 1月 25日 発行者:ワークホーム高砂

〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331 TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

http://workhome-takasago.org/ E-mail workhome@nifty.com

大人になったらまずは働こう！



ワークホーム高砂施設長 齋藤克己

今年の3月下旬、特別支援学校を卒業する二人の方を新規利用者として受け入れる。一人は男性の方で「就労継続B型」の利用者、もう一人は女性の方で「生活介護」の利用者である。この二人は、高等部2年生と3年生の時に実習でクリーニングを体験し、本人と保護者さんからワークホームでの利用希望があり、卒業式を終えて3月には晴れて利用者となる。

私は、障害の有無に関わらず、大人になったらまずは働くのが良いのだからと思っている。障害の重い方でもその人に合った働き方があり、「働くこと」を生活の柱にするのが良いのではないだろうか。もちろん、生き方の多様性が認められ、その人にはその人の価値観があり、人生の過ごし方についても人それぞれであっていいと思う。しかし、まずは様々な体験をすることが大事で、多様な体験の中から自分に合った生き方を選択するのが良い。とりあえずは、大人になったら「働くこと」を体験し、それから自分らしい人生を見つけても遅くはないのだと思う。「まずは、大人になったら働こう！」が卒業後の出発点であってほしいと願っている。

ワークホーム高砂の働き方については、以前は、「通勤は自分でできるようにしてください。9時から17時までには皆さん働いてください」と、かなり厳格に決めていた。しかし、新規利用者の状態を見ていると、そうした原則を設けたのではハードルが高すぎて難しいように感じる。したがって、最近では、最初のハードルを下げて対応するようにしている。通勤については保護者さんの送迎を認めているし、グループホームの利用さんについては、以前から送迎サービスを行っている。生活介護の利用者さんについては、次年度からは、ニーズに応じて送迎サービスを実施する予定である。また、働く時間については、あくまでも9時から17時を目標とするが、スタート段階や長時間働くことが難しい人については、利用者さんの状態や希望を聞きながら無理のない時間を設定し、まずは、「毎日通ってきて働くこと」を目標に考えたいと思っている。ところがこうした目標でも、かなり難しい利用者さんが増えてきている。現在でも午前中だけで帰宅する人や午後から来られる利用者さんなど、多様化しつつあるのも現実なのである。

とりあえず、高等部を卒業したら大人への階段を一步進めてほしい。そのためには、「働くこと」を暮らしの中心にすえるところから始めてほしいと思っている。障害の重い軽いに関わらず、その人に合った働き方の中で、お金を稼ぐことの喜びを感じてほしい。保護者の方や学校の先生には、「働けるか働けないか」を先に決めずに、まずはワークホームに相談してほしいと思う。私と職員との力不足でどうしても難しいとお断りすることもあるとは思う。しかし、ワークホーム高砂は利用者さんと保護者さんの「働きたい」「一度でいいから働かせてやりたい」という願いに、少しでも応えられる事業所であり続けたいと思っている。

2月の予定

2月2日(水) 作業会議

※15時00分作業終了ですので15分頃にお迎えをよろしくお願いいたします

2月9日(水) 清掃・工賃支給

※16時00分作業終了ですので15分頃にお迎えをよろしくお願いいたします

2月16日(水) 職員会議

※15時00分作業終了ですので15分頃にお迎えをよろしくお願いいたします

2月23日(水) 避難訓練・作業会議

※16時00分作業終了ですので15分頃にお迎えをよろしくお願いいたします

納豆工房に二人の職員をお迎えしました！

納豆工房 山口 秀人さん



趣味：料理、筋トレ（ここ1年怠け中）

初めまして、1月から納豆工房で働くことになりました山口秀人と言います。12月まではあかりの家で働いていました。同じ法人とはいえ、環境の違い、覚えることの多さ、44歳という年齢による記憶力の悪さかバタバタしています（皆に助けられ）。21年間あかりの家に勤務していましたが、ゼロからのスタートだと感じています。よろしくお願いいたします。

家族：4人 嫁・長男中1（剣道 小6まではチェントクオーレでサッカー習ってました）、次男小5（野球）

納豆工房 木澤 まい子さん



この度、納豆工房でも勤務することになりました木澤です。覚えの悪い自分に年齢を痛感し絶望の毎日ですが、新人として早く仕事を覚えられよう努力したいと思います。よろしくお願いいたします

本年1月から「納豆工房なっとこちゃん」が独立事業所としてスタートしていますが、「ワークホームだより」については、当分の間両事業所の話題を取り上げることとしております。ご理解ください。

今月の担当は錦でした。

納豆工房なっとこちゃんが独立事業所になりました！

納豆工房なっとこちゃんは、令和4年1月1日から定員10名の生活介護事業所として単独事業所になりました。新たなメンバーを加え“育てる、育つ”を目標の一つに掲げ、より一層の飛躍を誓い気持ち新たに頑張ります。

なお、これまでどおり納豆工房なっとこちゃんは、ワークホーム高砂とは兄弟のような関係で、自立しつつも一体的に運営してまいりますので、引き続き応援をお願いします。(長谷川)



《1月4日の辞令交付式》

第一回兵庫農福連携コンテストで「優秀賞」を受賞



1月19日(水)兵庫県と兵庫セルフセンターが主催する第一回農福連携コンテストが開催され、納豆工房なっとこちゃんの代表として楠課長補佐がプレゼンテーションを行いました。発表テーマは「佐用町特産の「もち大豆」を使用した納豆の製造と販売」です。

コンテストは、コロナの感染拡大で急遽 ZOOM での開催となり、緊張は高まりましたが、「納豆工房なっとこちゃん」の代表の楠課長補佐が流暢なプレゼンテーションを行いました。主には、地元兵庫県産の佐用もち大豆を使った納豆での農福連携を紹介したのち、課題として福祉事業所間における流通システムの構築をあげ、多くの審査員からの興味と質問を受けました。結果、見事優秀賞を受賞しました。(長谷川)

原 眞津子さん新しいお家にお引越し

この度希望山荘の利用者の原眞津子さんが1月7日に転居されました。

原さんは約7年間希望山荘で生活されましたが、ここ1~2年は高齢と身体機能の面から、段差だらけの希望山荘で転倒されることが増えていました。原さんの成年後見人、相談支援員、グループホーム看護師と職員が定期的に会議をし、原さんにとって一番安心して生活できる環境を話し合い、バリアフリーでゆっくりと生活できるラデュールいなみへの転居が決まりました。

新居は玄関から居室、浴室、トイレ等全てがバリアフリーになっており、部屋の配置も動線を考慮された安心できる環境です。原さん、ありがとうございました。これからは新しい仲間とまた楽しく暮らして行ってほしいです。(木澤)



実習生の受け入れ



東はりま特別支援学校高等部3年の船田さんが1月17日から20日の4日間、実習に来られました。今回もクリーニングのたたみ班で作業を行いました。3ヶ月ぶりの実習でしたが、前回よりも畳み方などとても綺麗になっており意欲的に取り組んでくれたのが印象的でした。

船田さんは、3月末から正式な利用者になる予定です。みんなであたたかく迎えたいと思っています。(野村)



大型洗濯機を更新！



昨年9月から故障していたGOTOさん所有の大型洗濯機が受注生産ということで納期が遅れていましたが、ついにこの度更新されました！

これからは、洗い場の効率が上がり生産量が増え作業がより大変になると思いますが、みんなで力を合わせて乗り越えていきたいと思っています。(吉中)



お知らせ欄

納豆工房なっとこちゃんが、生活介護事業所として独立しましたので特別支援学校の保護者さんと生徒さんを対象として「ワークホーム高砂・納豆工房なっとこちゃん合同事業所見学会」を予定しています。お知り合いの方にお知らせいただければ幸いです。

日程は2月23日(水)、3月11日(金)です。(楠)



月刊「ワークホームだより」3月号

発行:2021年 2月 22日 発行者:ワークホーム高砂

〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331 TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

http://workhome-takasago.org/ E-mail workhome@nifty.com



10年たったら・・・

ワークホーム高砂施設長 齋藤克己

10年たったら、62歳の僕は必ず72歳になる。

こんな当たり前の問いかけを、一度自分自身にしてみませんか。そうすることで、これからの10年を自分はどう生きるのか、どう生きなければならないのかを考えるきっかけにしてほしいと思うのです。自分自身の10年後、家族の10年後、新型コロナが蔓延する今の社会の10年後……。問いかけるその内容は、その人それぞれでいいのです。ただ大事なことは、10年後をポジティブに描いてみることにあります。暗く考えずに明るく生き生きと考えること。願望でもいいから10年後の素敵な自分を描いてほしいと思うのです。そして、10年後のあなたの姿は、今のあなた自身の連続した生き方の延長線上にあることをしっかりと確かめてほしいと思うのです。10年後の自分と今の自分は決して別物ではないということです。

新型コロナが人々の暮らしを一変させ、明るい未来を描くことが難しい社会。格差は開き固定化され、生きにくさはどんどんひどくなりつつあります。自己責任論が強調され「先ずは自助！」などと首相が言うようでは、政治にも期待が持てない。それでも「10年たったらこんな社会の中で、こんな自分でいたい！」と明るく未来の自分を描くことで、少し元気のない自分や周りの人々を励ましてほしいと思うのです。

10年前、僕はあかりの家の副園長として1年目を迎えていました。1年目が終わろうとしていた3月には東日本大震災があり、何もかも飲み込んでいくあの津波の映像をライブで見た時の衝撃は忘れません。つい先日「震度6強」というあの時を思い出す余震がありました。新型コロナの感染は、誰も予想しなかった出来事でした。つらい経験もたくさんしましたが、悪いことばかりではありません。良いこともたくさんありました。クリーニング工場で働く利用者さんの成長、納豆工房なつこちゃんの新たな出発など、仕事でも私生活でも様々な経験をさせてもらった10年でした。

そして、僕自身のこれからの10年は、すぐそこに迫っている「退職」という人生の節目も含めて、大きく暮らしが変わる10年になると考えています。しかし、ワークホームでやらなければならないことは、まだまだたくさんあり、最後まで走り続けようと思っています。

さて、10年たったら・・・みなさんはどこでどんな暮らしをしているのでしょうか。そして、そのために、今をどう生きますか。

手洗い後の手指消毒



手洗い指導や日々の練習で、利用者さんの手洗いは上手になってきていますが、なかなか完璧に洗えているとは言えない状態です…。そこで、仕上げ磨きのように、手洗い後はアルコールによる手指消毒をしてもらっています。今では、利用者さんと職員の間で「皆シュッシュッしようね。」が合言葉となりました。その反面、手指消毒による手荒れが出てきていますので、ご家庭でもハンドクリームなどで保湿をお願いします。

(久木原)

3月の予定

3月3日(水)	会議日
3月10日(水)	清掃・工賃支給日・避難訓練
3月17日(水)	会議日
3月24日(水)	学習会
3月31日(水)	会議日

※会議日は15時終了、それ以外は17時終了です。
お迎えの方はご注意ください。

避難訓練を行いました！

2月10日、毎年恒例の避難訓練を行いました。今回は作業中の火災を想定し、初めてクリーニング作業場からの避難を行いました。いつもとは違う場所からの避難でしたが、みなさん今までの訓練の積み重ねにより、真剣な表情でトラブルなく速やかに避難することができました。現在、季節的にも「静電気」による火災が増えているとのことです。万が一の際、一人ひとりが慌てずに対応できるよう、今後とも定期的な訓練を行っていきながら災害への意識を高めていけたらと思います。(宮本)



医療関連サービスマーク継続認定

ワークホーム高砂は、開設当初より医療関連サービスマークの認定工場として運営してきています。医療関連サービスマークとは、病院で使用した寝具類を洗濯するため、高い洗浄技術と徹底した感染症対策を実施している施設を医療関連サービス振興会が認定する制度です。3年に1回更新の為に認定調査が実施され、今年度はその更新年でした。9月に書類審査を受け、11月に現地調査が行われ、この度2月1日付けで無事認定を継続することができました。これからも日頃の積み重ねが認定に繋がるよう職員一同頑張っていきたいと思っています。(楠)



今月の担当は矢野でした。



コープこうべ つながるマルシェ



コープこうべとNPO 法人兵庫セルフセンターによるイベント

「つながるマルシェ」が2月から始まっています。このイベントに「納豆工房なっとこちゃん」として参加し、納豆の販売を行っています。「納豆工房なっとこちゃん」としては、2月はコープ姫路田寺店、コープ新多間店、コープ西神南店、コープ神吉店、コープ播磨店に参加しました。今後は【コープ高砂店 3月1日(月) 10:00~】、【コープテイズ神戸西店 3月10日(水) 10:00~】、【コープ稲美店 3月23日(火) 10:00~】に参加する予定です。機会があれば是非足を運んでください！(桂)

2月8日(月) 姫路田寺店



2月10日(水) 新多間店



2月15日(月) 西神南店



2月16日(火) 神吉店



作業を担うパートさん

納豆



納豆製造作業では3名のパートさんと一緒に働いています。パートさんには、豆洗いや豆炊き・納豆菌準備等を担って頂き、以前よりも効率良く作業が回るようになり製造量を増やすことができるようになりました。また、利用者さんとの作業では、ラベルの確認や製造時の検品などをお願いしています。(吉田)

クリーニング



工房の壁が華やかに!!

2月2日、納豆工房に利用者の藤野さんのお婆様が描かれた油絵3枚を設置させていただきました。外観の壁、階段の壁、食堂の壁にそれぞれ1枚ずつ、飾らせていただきました。何もないシンプルな壁が油絵を飾ったことで一気に華やかになり、利用者さんたちも「像の絵や!」「すごいなあ!」等と、嬉しそうに話す姿が見られました。(矢野)



新事業所 & 商品紹介

福祉アンテナショップの考え方に賛同して下さる事業所様が増え、新しい商品がどんどん入荷しています。今後も増える予定ですのでお時間のある時には、納豆工房のアンテナショップに足を運んでください。
1/20 から加古川市にある「有機茶房 ごえん」→ **コーヒー・黒豆・マスク**
1/26 から福崎町にある「たかはしサポートセンター」→ **もち麦**
2/16 から加古川市にある「ドレミ農園」→ **しいたけ**
2/21 から三木市にある「まほろば」→ **クリームパン**
2/23 から神戸市にある「光生園」→ **お味噌** も入荷しています。

(大谷)



朝の送迎の変化

ワークホーム高砂の職員は、グループホーム利用者などの送迎も担当しています。以前は、グループホームの早出職員が担当していましたが、利用者の高齢化に伴う安全性や自閉症の方の安定性を考慮して、クリーニング担当職員と納豆職員が担当しています。

また、他事業所に通っているグループホームの利用者については、希望山荘の早出職員が一度納豆工房の駐車場まで送り届け、そこで他事業所の職員に引き継ぐといった流れを作っています。(桂)



行ってきます!

月刊「ワークホームだより」4月号

発行日:2022年 3月25日

ワークホーム高砂 〒676-0081 高砂市伊保町中筋 1331 TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

http://workhome-takasago.org/ E-mail workhome@nifty.com

納豆工房なっとこちゃん 〒676-0082 高砂市菅根町1878-1 TEL(079)448-5400 FAX(079)448-5111

〒676-0082 高砂市菅根町1878-1 TEL(079)448-5400 FAX(079)448-5111

https://nattokochan.akarinoie.org/ E-mail natto_koubou@akarinoie.org



クリーニング作業週5日への実験開始!



現在クリーニング作業は、月曜日から土曜日(週6日稼働)まで作業を行っていますが、利用者さんも職員も週休2日となるため、どうしても一日当たりの人数が減ってしまいます。そこで、現在の作業量を減らさずにお客様に迷惑のかからない出荷システムがつかれないかをGOTOさんと協議しています。うまくいけば、一日当たりの利用者数と職員数を集約的に配置することができ、作業支援を充実させることができるのではないかと考えています。

そのため4月からは、5日間作業をする週と6日間作業をする週とに分けて生産量をみることにしています。利用者さんの公休日については、AグループとBグループに分けさせていただきます。月曜日が不定期に公休日となるため少し複雑になりますが、ご協力をお願いします。

《公休グループと4月・5月公休日》

Aグループ	Bグループ
今津さん、小南さん、瀬戸内さん、藤野さん、米田さん 永田さん、岸本さん、光宗さん、竹林さん、中岸さん 玉木さん、常峰さん、小林さん、大野さん、岡本さん 玉田さん、東西さん、福田さん、池上さん、西谷さん	梅原さん、立岩さん、濱口さん、丸山さん、中村さん 松永さん、森崎さん、浅野さん、木田さん、棒谷さん 木澤さん、大内さん、船田さん、有瀬さん、森川さん 増田さん、園原さん
《4月公休日》 4月3日(日)、4月4日(月)、4月10日(日) 4月11日(月)、4月17日(日)、4月18日(日) 4月24日(日)、4月25日(月)	《4月公休日》 4月2日(土)、4月3日(日)、4月9日(土) 4月10日(日)、4月11日(月)、4月17日(日) 4月23日(土)、4月24日(日)、4月25日(月)
《5月公休日》 5月1日(日)、5月2日(月)、5月8日(日) 5月9日(月)、5月15日(日)、5月16日(月) 5月22日(日)、5月23日(月) 5月29日(日) 5月30日(月)	《Bグループ5月公休日》 5月1日(日)、5月2日(月)、5月8日(日) 5月14日(土)、5月15日(日)、5月21日(土) 5月22日(日)、5月28日(土)、5月29日(日) 5月30日(月)
※ワークホーム高砂クリーニング作業については、水曜日は17時まで作業をおこない、工賃支給日(毎月第2水曜日)については、16時30分まで作業を行いますので、お迎えの方は17時をお願いします。	

※納豆工房なっとこちゃんの納豆製造作業については、これまでと変更ありません。水曜日については、15時までの作業となっています。



給食費の値上げについて



物価の値上げが様々な分野で行われています。この波は、ついに「給食」にも入ってきました。給食業者から値上げのお話があり、また、納豆についても材料費の高騰などをふまえて値上げをさせていただくこととなりました。1食あたり30円の値上げとなります。ワークホーム高砂及び納豆工房なっとこちゃんの全ての利用者さんが対象となりますので、どうかご理解とご協力をお願いします。

利用者負担 現在195円 → 4月から225円



令和4年度を新たな一歩の年としたい!

ワークホーム高砂施設長 齋藤克己

新しい年、令和4年度がスタートしました。本年度のワークホーム高砂は、クリーニング事業の充実と職員育成に力点を置き、新たな職員体制をベースに保護者会との協力関係を大切にしながらじっくりと日々の運営に取り組みたいと思います。

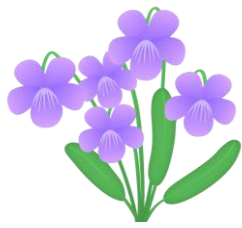
まず、クリーニング事業については、GOTOさんとの連携を強め情報を共有しながら福祉サービスの「利用者さん」とクリーニングの「お客さん」の両方のニーズに応えられる運営を意識したいと思います。そのためには、GOTOさんとの「経営会議」や「運営会議」をとおして、互いの立場の違いを相互理解しあえる関係をより深化させ、事業パートナーとしての連携がより強固なものとなるよう十分な意見交換ができる環境づくりに取り組みたいと思います。

職員育成については、改めてクリーニング関係の資格取得に取り組むとともに、福祉サービスの制度理解などの基本知識はもとより、強度行動障害に代表される支援困難者に対する専門支援技術の習得にも積極的に取り組みたいと考えています。特に、基礎知識として法人の歴史や自閉症総合援助センター機能、ワークホーム高砂が目指す生産活動支援や就労支援の知識と技術についても職員に学びの場を設ける予定です。

障害者虐待防止法の制定以来、通報の義務化が浸透する中で障害者施設等における「虐待」問題がマスコミでも随分と取り上げられるようになりました。これまでの経験から「障害者虐待」は、日常のさりげない変化に気づけない鈍感さが生み出すことが多いように感じています。人を人として見る当たり前の障害者観が崩れたときに「虐待」の芽が伸び始めることを意識し、日常的にそうした虐待の芽が伸びていないかを職員間で点検できるシステム化にも取り組みたいと思います。

クリーニング作業は、夏の暑さやほこり対策が必要不可欠です。生産量を維持し向上させるためにも働く環境の改善に取り組む必要があります。本年度は、夏までに「冷房機」の更新も考えており、暑さ対策を一步進める予定です。そして、ほこり対策については、何よりも毎日の清掃が一番の対策です。作業場の小さなごみを拾える感性を職員と利用者にも求めるとともに、清掃活動を週間予定の中に位置づける「工場環境美化システム」(ちょっとおかげさですが)にも取り組みたいと思います。

ワークホーム高砂は開設から19年が経過し、私が施設長になって10年目の節目の年を迎えました。本年度は、現在週6日の作業日を週5日に変更するための新たな試みに挑戦します。GOTOさんの協力と理解がなければできない試みですが、生産量を落とさずに5日で稼働できたなら、ワークホーム高砂の新たな歴史が刻まれることになり、ワークにとってもGOTOさんにとっても様々な可能性が広がることとなります。どうか、利用者・保護者さんのもとより、関係各位のご理解とご協力をよろしくお願い致します。



2021年度の作業を振り返って



クリーニング作業

2021年度のクリーニング作業は、機械の経年劣化に伴う機会停止や新たな商品の導入による作業量の増大などで作業に追われる日々でした。また、新型コロナウイルスで様々な制約があるなか職員も定着せず、利用者さんには大変ご迷惑をおかけした1年であったと思います。しかし、そうした状況ではありましたが、利用者さんと職員全員で前に歩み続けることができた1年でもありました。今後も試行錯誤を繰り返しながら、少しでも働きやすい作業環境に改善できるよう、また、利用者さんの利用者さんのパフォーマンスが最大限に発揮できるよう充実した支援に取り組みたいと思います。(吉中)



なっところちゃんの製造と販売

2021年度の納豆事業は大きく飛躍した1年だったと感じています。6月には納豆工房なっところちゃんの新たなホームページとオンラインショップが開設され、より広く多くの方になっところちゃんを知って頂けるようになりました。初めて山陽百貨店にも出店させていただきました。コロナ禍であり販売をするには厳しい環境でしたが、多くのお客様がご来店くださり、「美味しかったからまた買いに来た。」と嬉しいお言葉を沢山いただくことができ大変貴重な経験となりました。

10月にはおかげさまで納豆工房は1周年を迎えることができました。様々なキャンペーンや新商品である「佐用もち大豆わさび」「贈答用納豆花なり」の販売等も行いました。そして、1月には納豆工房なっところちゃんがワークホーム高砂から切り離され独立事業所として新たな歴史をスタートさせました。利用者さんも生活介護の方が中心となり、「正直この人数で作業進捗は大丈夫なのか」と不安が頭をよぎりましたが、利用者さんは目の前の作業に一生懸命に取り組んでくださりそんな不安も杞憂に終わりました。来年度もさらなる飛躍とより多くの方になっところちゃんを知って頂けるよう利用者、職員一同頑張りたいと思います。(錦)



事業所説明会を開催！

2月23日と3月11日に事業所説明会を開催しました。今年度は納豆工房なっところちゃんの事業所立ち上げもありましたので、年度を通して5回の事業所説明会を実施し、延べ42名の方にご参加していただきました。就労系のワークホーム高砂と納豆工房に加え、グループホームの希望山荘日笠、友愛の家についても見学をしていただきました。今後もこういった説明会を実施して私たちが目指すものを知って欲しいと思います。(楠)



3月で異動・退職される職員



岸本 好正さん (きしもと よしまさ)

1年間ありがとうございました。来年4月より相談支援員として、高砂市基幹センターになりました。思えばあっという間の1年と言いたところですが、僕にとってはとても長い1年でした。最後に思うのはやはり、最初の挨拶でも書かせて頂いた通り、皆さんの一生懸命な仕事ぶりのことです。同じ法人にはいますので、また顔を合わせることもあると思いますが、ひとまず1年間ありがとうございました。



楠 彩花さん (くす あやか)

3月末で退職することになりました。6年前、ワークホームに入ってから、利用者さんからも多くの事を学びました。ワークホームで学んだことを糧に新しいことに挑戦したいと思います。いろいろありましたが、本当に6年間ありがとうございました。コロナ禍ですが、利用者の皆さんもまだまだ新しいことに挑戦し、頑張っていてほしいと願っています。

4つのイベントに参加

納豆工房では3月に①山陽百貨店②スイーツ甲子園マルシェ・農福連携マルシェ③つながるマルシェ④+NUKUMORI マルシェと4つのイベントに参加してきました。「あ、なっところちゃんや〜」のお声や「なっところちゃん美味しいね。パッケージもスイーツみたいで人にあげたくなるわ」とリピーターのお客様もお越しになりました。皆で頑張ったなっところちゃんが着実に評価されてきた証だと感じました。こういったイベントに参加できることは嬉しいことですが、我々が行うべきことはイベントを通して一般の方にも福祉事業所の商品を知ってもらい障害者理解を進めていくことだと思っています。(楠)



(山陽百貨店出店の様子)



神崎 柚衣奈さん (かなぎき ゆいな)

3月末で退職することになりました。この約1年間、皆様からたくさんのお話を教えてもらったことや仲良くしてもらったこと楽しい思い出ばかりです。またどこかでお目にかかることがありましたら、お気軽にお声をかけてください。ありがとうございました。



福井 由利子さん (ふくい ゆりこ)

あっという間の2年間でしたが、とても楽しく幸せな時間でした。「福井さん」と声を掛けていただけた時の嬉しさは一生の宝物になりました。これからも楽しいワークホーム生活を送ってください。本当にありがとうございました。

今年度もよろしくお願い致します！

月刊「ワークホームだより」5月号

発行日:2022年 4月26日

ワークホーム高砂 〒676-0081 高砂市伊保町中筋 1331 TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

http://workhome-takasago.org/ E-mail workhome@nifty.com

納豆工房なっとこちゃん 〒676-0082 高砂市菅根町1878-1 TEL(079)448-5400 FAX(079)448-5111

〒676-0082 高砂市菅根町1878-1 TEL(079)448-5400 FAX(079)448-5111

https://nattoKochan.akarinoie.org/ E-mail natto_koubou@akarinoie.org



グループホーム制度をめぐる動向

ワークホーム高砂施設長 齋藤克己

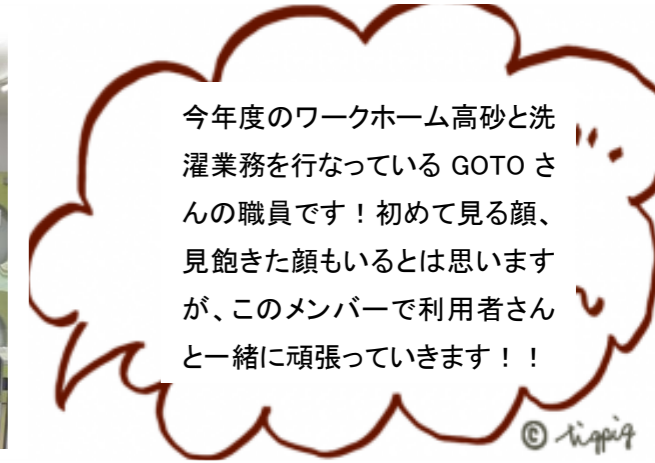
先日の保護者役員会でグループホームが話題となった。保護者の方々の高齢化に伴い、我が子と一緒に暮らせなくなる日が、そろそろ現実味を帯びてきたということ。保護者の方が定年退職を迎えつつあり、まだ、元気うちに見通しをつけなければとの思いがひしひしと伝わってきた。そのための資金繰りについての話題であった。

日本の福祉制度では、高齢化により介護を受けながら暮らす場として特別養護老人ホームが制度化されている。一方、障害者が支援を受けながら暮らす場としては、障害者支援施設が制度化されているのだが、国は2002年12月に「入所施設は真に必要なものだけに限定する」という考え方を打ち出し、2004年度からは新設や定員増を伴う増改築に対しては補助金を出さない、との方針でこれまで対応してきた。そして、入所施設に代わるサービスとして「グループホーム」(以下「GH」と略す)を推奨している。

最近のGH制度をめぐる議論では、行動障害を伴う重度障害の方についてもGHを位置付ける方向が示されており、また、日中活動と一体となったGH(日中支援型GH)を新たにスタートさせることで、高齢化にも対応するサービスとしてGHが中心的な役割を担うことが期待されている。つまり、端的に言えば、障害者支援施設が担ってきたこれまでの福祉機能を再整理し、「高齢化対応型GH」「重度行動障害対応型GH」地域生活への移行を目的とした「自立支援型GH」等に改変していくのではないかと私自身は考えている。障害者支援施設でなければ達成できない目的があれば別だが、それが明確に打ち出せない限り、これからはGHこそが入居型サービスの中心を担うことになるのではないだろうか。

そうなる私たちが考えなければならないのは、どのような目的のGHを設置するのかということ。つまり、入居する対象者の具体像を描きながら、どのような機能を有するGHを必要としているのかを明確にすることである。部屋の広さ、有する設備、スタッフの専門性、そして具体的なサービス内容など、利用する方々のニーズに応えられるホームづくりについて具体的に検討しなければならない。例えば、数年後には地域社会で一人暮らしを目指すAさんと、既に60歳をむかえ足が不自由になりつつあるBさん、或いは、重い行動障害を有するCさんに必要な設備や専門スタッフは自ずと異なる。こうした視点を持ちながらも、ある程度は汎用性のある建物や設備を考えなければならない。そして、何よりも支援スタッフについては、多様な利用者ニーズに対応できる理論と実践技術を身に着けておかなければならないといえるだろう。このように、GHという同じ表現でも利用者の状態像とニーズによっては異なる機能が求められることを意識しておかなければならない。

時間があるようでないのが「親亡き後対策」である。保護者会をはじめ、法人が一体となって保護者と利用者の将来不安について議論し、それを解決するための協力関係を新たに構築する必要があると考えている。



今年度のワークホーム高砂と洗濯業務を行なっているGOTOさんの職員です！初めて見る顔、見飽きた顔もいるとは思いますが、このメンバーで利用者さんと一緒に頑張っていきます！！

～新たな利用者さんを迎えて～

東はりま特別支援学校より、新たにワークホームに2人の仲間が増えました！入所されて約1ヶ月が経ちました。作業場は熱くなってきましたが、毎日元気に通所され仕事に励んでいます。



3月22日より新しく木田凜(きだ りん)さんが入所されました。「作業頑張ります！これからよろしくお願ひします」と元気に答えてくれました。いろいろな作業に積極的に取り組んでいる姿が印象的です。これからもみんなで応援していきたいと思います。(野村)



3月28日より船田彩音(ふなだ あやね)さんが入所されました。好きな食べ物はハンバーグ、趣味はチャンネルとYouTube鑑賞です。「ワークホーム高砂で作業を頑張ります。よろしくお願ひします。」と元良く言われています。しっかり働けるように支援していきたいと思います。(吉中)

《公休グループと5月・6月公休日》

A グループ	B グループ
今津さん、小南さん、瀬戸内さん、藤野さん、米田さん 永田さん、岸本さん、光宗さん、竹林さん、中岸さん 玉木さん、常峰さん、小林さん、大野さん、岡本さん 玉田さん、東西さん、福田さん、池上さん、西谷さん	梅原さん、立岩さん、濱口さん、丸山さん、中村さん 松永さん、森崎さん、浅野さん、木田さん、棒谷さん 木澤さん、大内さん、船田さん、有瀬さん、森川さん 増田さん、園原さん
《5月公休日》 1日(日) 2日(月) 8日(日) 9日(月) 15日(日) 16日(月) 22日(日) 23日(月) 29日(日) 30日(月)	《5月公休日》 1日(日) 2日(月) 8日(日) 14日(土) 15日(日) 21日(土) 22日(日) 28日(土) 29日(日) 30日(月)
《6月公休日》 5日(日) 11日(土) 12日(日) 13日(月) 19日(日) 25日(土) 26日(日) 27日(月)	《6月公休日》 4日(土) 5日(日) 11日(土) 12日(日) 18日(土) 19日(日) 25日(土) 26日(日)
※ワークホーム高砂クリーニング作業については、水曜日は17時まで作業をおこない、工賃支給日(毎月第2水曜日)については、16時30分まで作業を行いますので、お迎えの方は17時にお願ひします。	

※納豆工房なっとこちゃんの納豆製造作業については、これまでと変更ありません。水曜日については、15時までの作業となっています。

今回の担当は花岡でした。

～ワークホーム高砂初めての全員公休日～



週5日稼働の試行により4/11(月)は初めて利用者さん全員が公休日でした。その日は職員全員で工場内の清掃や機械のメンテナンス、職員会議、学習会などを実施しました。利用者さんが働きやすい環境作りや週5日稼働に向けての対策、また学習会を通じて利用者さんへの理解を深め、より良い支援を行なう為の学びの場となりました。職員にとっては大変有意義な1日となりました。(花岡)

新任・異動職員ワークに来たる！！

あかりの家→ワークホーム



吉田 大樹(よしだ ひろき) 今年度からオリーブの家とワークホームで働くことになりました。3月まであかりの家で五年ほど働いていましたが、この度こちらへ異動となりました。あかりの家で培ってきた経験を活かしつつも、新たな環境で心機一転、初心に帰ったつもりで職員・利用者たちと一緒に頑張っていこうと思っています。よろしくお願いします。

村上 将実(むらかみ まさちか) 今年度からオリーブの家・ワークホームへ異動となりました。2年程「あかりの家」で勤務しておりました。利用者さんと一緒に仕事をしながら、色々学ばせて頂けたらと考えております。皆様にご迷惑をかけると思いますが、ご指導の程宜しくお願い致します。



新任職員



長瀬 圭佑(ながせ けいすけ) 初めまして。4月からワークホーム高砂で働くことになりました。まだまだ分からない事だらけですが、利用者の皆さんと一緒に頑張っていきます。よろしくお願いします。

関 歩未(せき あゆみ) 4月からワークホーム高砂で働かせていただくことになりました。利用者さん一人一人に寄り添っていける支援員になりたいと思っています。よろしくお願いします。



重田 桃華(しげた ももか) はじめまして。4月からワークホーム高砂で働いています。利用者様との関わりや作業のことなど、初めてのことばかりで戸惑いながらも、とても新鮮な気持ちでいっぱいです。この新鮮な気持ちを忘れず、利用者様と共に成長できることを楽しみにしています。これからよろしくお願いします。

納豆工房→ワークホーム

神谷 典子(かみや のりこ) 4月よりワークホーム高砂で働かせて頂いています。利用者さん、職員さんに色々なことを学ばせて頂き額に汗しています。これからもよろしくお願い申し上げます。



なっところちんだより

コーヒー・紅茶の提供開始

納豆工房は4月13日から余暇活動の一環として利用者さんにコーヒー・紅茶の提供を開始しました。昼食後利用者さんにそれぞれコーヒーか紅茶を選んでいただいて提供しています。利用者さんからは「美味しい。」「コーヒーありがとうございます。」といった声が上がりと多くの笑顔が見られました。今後もこのような活動を考えていながら、利用者さんのワークライフがより良いものになるよう努力していきたいと思ひます。(錦)



福祉アンテナショップについて

今年度もおかげさまで福祉アンテナショップは順調にスタートしています。納豆はもちろんのこと、ミニケーキや豆乳プリン、ドーナツやゼラートをはじめとしたお菓子類、しいたけやお味噌等の食品類、ぬいぐるみやポーチ、かご等の編み物類など様々な商品を取り揃えています。また、4月19日から新たに丹南精明園のジャムの販売を開始いたしました。是非一度足を運んでいただけたらと思ひます。ご来店お待ちしております。(錦)



～なっところちんに新しい職員が来ました～



村田 伊津子
(むらた いつこ)

4月より、あかりの家から希望山荘に異動してきました村田伊津子です。右も左も分からない中、希望山荘の方々に助けをもらいながら日々やっています。コロナ禍で活動は縮小されていますが、少しでも生き生きと生活できるように、一緒に楽しんでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。



村山 香織
(むらやま かおり)

皆様初めまして。なっところちんの納豆がふっくらとして美味しく大好きです。はやく仕事を覚えて皆さんと楽しく納豆づくりができるよう頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。

月刊「ワークホームだより」6月号

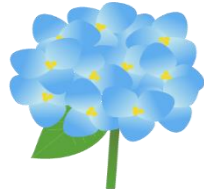
発行日:2022年5月25日

ワークホーム高砂 〒676-0081 高砂市伊保町中筋 1331 TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

http://workhome-takasago.org/ E-mail workhome@nifty.com

納豆工房なっとこちゃん 〒676-0082 高砂市菅根町1878-1 TEL(079)448-5400 FAX(079)448-5111

https://nattoKochan.akarinoie.org/ E-mail natto_koubou@akarinoie.org



人としての自閉症を理解する

ワークホーム高砂施設長 齋藤克己

クリーニング工場の稼働日を週5日に変更する試みを始めてから、職員間で話をする時間が随分と増えました。以前から、事務時間や研修時間の確保が大きな課題となっていただけに、月に2回でも全員が顔を合わせる機会ができたことは、ワークホームの運営にとって大変意義深いことだと感じています。こうした環境変化も影響していると思うのですが、職員から「改めて自閉症について学びたい」との要望が出始めています。研修は、本人のモチベーションが大事です。それだけに、この機会を逃さずにワークホームの全職員を対象とした学習会を再開しています。

1回目(4月11日)の研修会では、『支えあってともに生きる』(明治図書:近藤原理編)という本の中から、故今津房子さんが書いた「あかりの家をめざして」というエッセイを読み、あかりの家設立の経緯や房子さんの思いをみんなと学びました。

2回目(5月2日)の研修会では、「自閉症スペクトラムにおける体験世界」(『そだちの科学』2018.10)という滝川一廣先生の論文を読んで、人の育ちの過程で養育者と本人との「愛着」がいかに大事なのかを学び、自閉症の人たちの「体験世界」と「内面世界」がどのように築かれていくのかを学びました。第3回目は5月30日、第4回目は6月11日の全利用者公休日に予定しています。

ところで、自閉症学習で大事なことは、自閉症という障害特性を理解することと同時に、それを踏まえて一人ひとり異なる「その人」を理解するという視点を学ぶことだと私は考えています。「自閉症」という診断を受けていたとしても、一人ひとり異なる人格を持っています。たとえ「自閉症」の特性が理解できたとしても、AさんやBさんを理解したことにはなりません。AさんにはAさんの、BさんにはBさんのそだちと人生があります。ですから、職員に求められるのは、自閉症という大きな枠での特性理解を進めながら、利用者個々と付き合いを深めていき互いを知り信頼関係を築いていくことなのです。そうした関係づくりの中でこそ、一見行動障害と思われる「行動」の根っこにある「その人の想い」を理解することができるのです。

なんだか、ややこしい言い回しになりましたが、私が40年近くこの仕事をしてきた中で得た「自閉症の理解論」です。ワークホームの学習会では、こうした内容を具体的に職員に伝えていきたいと考えています。

3年ぶりに保護者会が開催されました！！

5月22日(日)、約3年ぶりにワークホーム高砂・納豆工房なっとこちゃん保護者会が開催されました。今回はコロナ禍に配慮して、2グループに分け計34人の保護者さん、利用者さんの参加がありました。この間、職員の入れ替わりがあり保護者の方は、職員の顔を知らないような状況でした。その為、今回は保護者と職員の顔合わせという趣旨で開催されました。今後はコロナが終息し、以前のように保護者と一緒に対面での行事が当たり前になるよう切に願っています。(楠)

《公休グループと6月・7月公休日》※6月・7月は土日で試行致します。

Aグループ	Bグループ
今津さん、小南さん、瀬戸内さん、藤野さん、米田さん、永田さん、岸本さん、光宗さん、竹林さん、中岸さん、玉木さん、常峰さん、小林さん、大野さん、岡本さん、玉田さん、東西さん、福田さん、池上さん、西谷さん	梅原さん、立岩さん、濱口さん、丸山さん、中村さん、松永さん、森崎さん、浅野さん、木田さん、棒谷さん、木澤さん、大内さん、船田さん、有瀬さん、森川さん、増田さん、園原さん
《6月公休日》 5(日)、11(土)、12(日)、13(月) 19(日)、25(土) 26(日) 27(月)	《6月公休日》 4(土)、5(日)、11(土)、12(日)、18(土)、19(日) 25(土) 26(日)
《7月公休日》 3(日)、4(月)、10(日)、16(土)、17(日)、18(月) 24(日)、30(土)、31(日)	《7月公休日》 2(土)、3(日)、9(土)、10(日)、16(土)、17(日) 23(土)、24(日)、30(土)、31(日)
※ワークホーム高砂クリーニング作業については、水曜日は17時まで作業をおこない、工賃支給日(毎月第2水曜日)については、16時30分まで作業を行いますので、お迎えの方は17時をお願いします。	

※納豆工房なっとこちゃんの納豆製造作業については、これまでと変更ありません。水曜日については、15時までの作業となっています。

新任職員への感染研修

今年度から初の試みとして、仕事に入る前の段階で実技を含めた新任職員研修を実施しました。新任職員の方には、クリーニング工場という特別な環境で仕事をしている事をよく理解してもらい、衛生に関しては、特に気をつけて手指衛生など徹底してもらいたいと思います。「講義だけでなく実践指導もあり、わかりやすかった。」「感染症ビデオの鑑賞や感染症の基礎の学びなどから、至る所に感染症リスクがあり、手洗いや手指消毒の重要性を理解し、徹底したいと思った。」などの感想があり、今後も継続した感染症対策研修の必要性を感じました。(久木原)



自閉症スペクトラムについて学ぶ

5月2日、第2回目の学習会がありました。今回の学習会は、自閉症について学びました。「自閉症スペクトラムにおける体験世界」の著者である滝川一廣先生の考え方を参考にして学びを深めました。学習会をとおして感じたことは、今までは自閉症の表面的な特徴しかみていなかったということ。自閉症の方の世界の見え方、物の捉え方を考えて支援ができていたのか?改めて職員の支援・声掛けについて深く考えさせられました。自閉症の方の行動や言葉だけにとらわれず、今後もより良い支援を行なっていきたいと思いました。(重田)

今回の担当は吉中でした。

今月のワークホーム高砂



クーラーの更新でこれからの夏を乗り越える



4月24日から5月2日の休日を利用してクーラーの取り替え工事が行われました。今までのクーラーは工場が開設された平成15年に設置され経年劣化が進み、夏には微風にしか感じない箇所もありました。そうした中でクーラーの更新は、利用者と職員

の悲願でもありました。

今回更新されたクーラーは、ガスヒューボンと電気の併用から電気に統一され、また、能力もアップしているため、随分と涼しい風が出てきます。作業現場は、夏になれば30度を超す日もありますが、今回の工事で少しは作業環境の改善が図られるのではないかと期待しています。作業環境については、機械音やほこりなど、まだまだ改善しなければならない課題も多くありますが、これからも一つひとつ改善して利用者さんが働きやすい環境を整えていきたいと思ひます。(吉中)



利用者さんの食事・お昼休みの様子



お昼の休憩時に利用者さんは、ワークホームが提供する「ひでかつ給食」のお弁当を食べています。人数が多い為、コ

ロナ対策の一環として前半組と後半組に分かれて密にならないようまた、食事中は会話をしないよう食べてもらっています。職員は、食事のリズムが速い人、遅い人それぞれに見

合った声掛けを行い、食後には歯磨きの支援も行っています。早くコロナが収束し、楽しく会話をしながら食事ができる日が待ち遠しいです。(関)



今月の納豆工房なっとこちゃん

工賃支給日にお疲れ様会！

5月11日、日々の作業や掃除等を頑張っている利用者さんを慰労する目的で工賃支給と共にお疲れ様会としてミニケーキとコーヒー・紅茶を提供しました。利用者さんからは「美味しいなー。」という声上がり、皆さん笑顔でミニケーキを食べていました。今後も毎月工賃支給日にはお疲れ様会を実施していき、利用者さんの日々の頑張りを労っていかれたらと思います。(錦)



1ヶ月が経ち感じたこと...



4月に希望山荘日笠と納豆工房に配属され約2か月が過ぎました。日々、バタバタと覚えることだらけの中、悪戦苦闘しながら過ぎていっています。そんな中、納豆作りのスペシャリストの利用者の方々に助けてもらいながら頑張っています。これからも利用者の方々と明るく楽しく前向きにやっていきたいです。(村田)

自分の仕事の覚えの悪さに落ち込むことが多いですが、何度でも丁寧に教えてくださる職員さんのおかげで楽しく仕事が出来ており感謝しています。また、重く大きなお鍋を一生懸命に洗ったり、コツコツと仕事に取り組んでおられる利用者さんの姿に私も頑張ろう！と励まされている毎日です。これからも皆さんと一緒に丁寧に心を込めて美味しい納豆を作っていきたいです。(村山)



利用者のみでのシーツ作業はじまる！

4月から週5日稼働の試行が始まり、シーツ結束作業については、GOTOの職員がいない日もあるため、利用者さんだけの作業が実験的に始まりました。今のところは混乱することなく、利用者さんだけで連携を図りながら取り組んでいます。自信を持って作業に取り組んでいけるよう、これからも、しっかり支援を行いたいと思ひます。(長瀬)



月刊「ワークホームだより」7月号

発行日:2022年6月24日

ワークホーム高砂 〒676-0081 高砂市伊保町中筋 1331 TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

http://workhome-takasago.org/ E-mail workhome@nifty.com

納豆工房なっとこちゃん 〒676-0082 高砂市菅根町1878-1 TEL(079)448-5400 FAX(079)448-5111

https://nattoKochan.akarinoie.org/ E-mail natto_koubou@akarinoie.org



感染対策をしながら通常行事の再開を・・・

ワークホーム高砂施設長 齋藤克己

新型コロナウイルスの新規感染者数が減少に転じています。兵庫県でもその傾向は同じで、250人を切る日もでてきました。国の専門分科会では、感染の未然防止と経済活動の両立を視野に入れた議論が始まっています。政府は、経済活動を活性化させる方向で海外からの観光客を受け入れる準備に入りました。みなさんの近所の学校でも、遠足や修学旅行が再開されたのではないかと思います。感染防止を図るために中止していた様々な事業が、そろそろ解除の方向で動き始めたと言ってもいいでしょう。

ところで、世間のこうした動きを見据えた時、ワークホームにおいても、いつ通常行事を再開するかが問われていると思います。特に、ワークでは最大の行事である「一泊旅行」をどうするのかは判断の迷うところです。通常どおり大型バスをチャーターして全員で一泊旅行へ行くのか、或いは、宿泊はやめて日帰りにするのか。或いは、全員で行くのはやめて小グループで行くのか等々、感染症対策と行事再開の判断は、本当に難しいと感じます。

しかし、こうした判断をする際には、いわゆる「エビデンス」を基準に判断すればいいのではないかと思います。マスクの効果は実証されていますし、バス内では5分程度で室内の空気が入れ替わるとの報告もあります。マスクを外す時は、食事と入浴と就寝時です。一泊旅行ではこの三つの行為は避けられないので、その場合でも「密」を避けるにはどうすればいいのかなどもシミュレーションしておく必要があるでしょう。

このように、通常行事の再開にむけては、科学的根拠をしっかりと踏まえた感染対策のうえにたち、必要な判断をすることが大切だと考えています。そして同時に、利用者さんと保護者さんのご理解とご協力がなければ実現しないとも思っています。

未だワークホーム高砂においては、利用者の新型コロナ感染はゼロという名誉な記録が続いています。これだけ市中感染が広がる中で「奇跡」といえるでしょう。それだけに、行事再開と同時に感染者が出ることをないよう、慎重に再開のタイミングを図りたいと思います。行事再開について、ご意見のある方は連絡をいただければと思います。

～ 2021（令和3）年度の平均工賃 ～

ワークホーム高砂と納豆工房なっとこちゃんにおける昨年度の平均工賃実績は、次のとおりです。ワークホーム高砂の平均工賃は、県下でも高い事業所との評価をいただいておりますが、利用者の経済的自立を支えるうえでは十分な工賃とはいえません。これからも、工賃向上をめざして取り組んでいきたいと思っております。

《ワークホーム高砂 就労継続B型事業・・・46,084円》

《ワークホーム高砂 生活介護事業・・・21,840円》

《納豆工房なっとこちゃん 生活介護事業・・・21,315円》

ご協力よろしくお願いします！！

7月23日(土)午前中にワークホーム高砂、納豆工房利用者さんと職員の健康診断を予定しています。

健康診断につきましては、正しい数値結果を得るため、朝食を抜いてご参加いただきますよう、ご協力をお願いします。また、健康診断当日公休の利用者さんにつきましては、お手数ですが、健康診断の時間帯のみ来ていただきますようお願い致します。詳細につきましては、後日、通い袋を通して連絡させていただきます。(久木原)



健康診断

《公休グループと7月・8月公休日》※7月・8月は土日で試行致します。

A グループ	B グループ
今津さん、小南さん、瀬戸内さん、藤野さん、米田さん、永田さん、岸本さん、光宗さん、竹林さん、中岸さん、玉木さん、常峰さん、小林さん、大野さん、岡本さん、玉田さん、東西さん、福田さん、池上さん、西谷さん	梅原さん、立岩さん、濱口さん、丸山さん、中村さん、松永さん、森崎さん、浅野さん、木田さん、棒谷さん、木澤さん、大内さん、船田さん、有瀬さん、森川さん、増田さん、園原さん
《7月公休日》 3(日)、4(月)、10(日)、16(土)、17(日) 18(月)24(日)、30(土)、31(日)	《7月公休日》 2(土)、3(日)、9(土)、10(日)、16(土)、 17(日)23(土)、24(日)、30(土)、31(日)
《8月公休日》 1(月)、7(日)、13(土)、14(日)、15(月) 21(日)、27(土)、28(日)、29(月)	《8月公休日》 6(土)、7(日)、13(土)、14(日)、20(土) 21(日)、27(土)、28(日)、
※ワークホーム高砂クリーニング作業については、水曜日は17時まで作業をおこないます。また、7月13日の工賃支給日(毎月第2水曜日)については、16時30分まで作業を行いますので、お迎えの方は17時をお願いします。	

行動援護従業者養成研修に参加

5月18日から3回に分けて実施された三幸福祉カレッジ主催の「行動援護従事者養成研修」が6月1日に修了し、先日「修了証」をいただくことができました。今回の研修では、改めて自閉症の方や知的障害の方に対する基礎知識を得るとともに、グループワークをとおして研修生同士で意見交換を行ない、自分自身の支援の仕方を見つめなおす良い機会となりました。ワークホームには、たくさんの自閉症の方がおられるので、今回の研修を活かしながらより良い支援に取り組みたいと思います。また、自分が学んだことを他の職員にも発信していき、ワークホーム全体のレベルアップに繋げていきたいと思っております。(花岡)



今回の担当は野村でした。

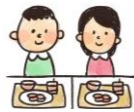
久しぶりの「のじぎくスポーツ大会」！

ワークホーム高砂としては3年ぶりに「兵庫県のじぎくスポーツ大会」に参加しました。

参加者は、陸上の部で小南さんが、地域のサッカークラブの一員として梅原さんが参加しました。また、あかりの家から丸山さんも800m走に参加しました。小南さんは、日頃作業をしている姿しか知らない身としてはアスリートさながらの姿が見られ嬉しく思いました。また、梅原さんについては、キャプテンマークを腕に着け、たくましく走り回っていました。

小南さんは、壮年の部1500mで見事優勝し全国大会の切符を手に入れました。丸山さんも優勝し、梅原さんの所属するチームも優勝することができました。

今回は3名の参加と少し寂しい感じでしたが、コロナがもう少し収束すればみんなで参加出来ればと考えています。(吉中)



給食会議の実施



6月8日、現在の給食提供者である「ひでかつ給食」に出向き、現場を見せていただくとともに現地で給食会議を開催しました。ワークホーム高砂からは、齋藤施設長と花岡が、納豆工房からは木澤主任支援員が参加しました。いつも給食を食べている利用者の皆さんや職員からの意見・要望を聞き、「ひでかつ給食」の栄養士さんにお伝えしました。また、運営上の課題等についても意見交換をさせていただき、今後も利用者さんが安心して美味しく給食を食べていただけるよう定期的に給食会議を開催することを確認しました。(花岡)



実習生受け入れ

東はりま特別支援学校の高等部3年生 泉 百花さん、田中智樹さんの2名が、5月31日から6月3日までの4日間、クリーニングのたたみ班で実習を行いました。やる気が空回りしないか心配になりましたが緊張をしながらも4日間しっかり作業を行う事が出来ました。立ちっぱなしの作業で足を辛そうにされていることもありましたが、集中力を保って取り組んでくれました。最終日に感想を聞くと「疲れたけど楽しかった。」と2人とも初日には見られなかった笑顔で伝えて来られました。今回実習が今後の糧になって頂けるとありがたいです。(吉中)



職員みんなで大掃除

5月30日は利用者さん全員が公休の日で、普段は目の届かない天井付近や機械の裏側などの埃をGOTO職員さんと協力し、ピカピカに清掃しました。きれいになった作業場で、気持ちよく作業を行っていただけていると嬉しいです。(重田)



納豆工房なっとこちゃん

～新任職員紹介～



荻内 真菜(おぎうち まな) 6月よりあかりの家から納豆工房なっとこちゃんへ異動してきました。趣味は御朱印巡りと乗馬です。好きなアーティストは King Gnu(キングヌー)です。大学では心理学を学んでいました。利用者の方々の個性に応じた支援を行いながら、美味しい納豆作りに励みたいと思っています。至らぬところもあるかと思いますが、よろしくお願い致します。

2年間ありがとうございました～職員の退職～

錦 諒(にしき りょう) 6月末で退職することになりました。約2年間と言う短い期間でしたが、ワークホーム・納豆工房なっとこちゃん様で様々な事を学ばせていただきました。

現場で働く利用者さんの一生懸命な姿がとても印象的で、僕も頑張ろうと励まされていました。ここで学ばせていただいたことを次の場所でも生かしていきたいです。今まで本当にありがとうございました。まだまだコロナ禍ですがこれからの利用者さんの成長を心から願っています。



障がい者雇用を開始！！

6月より納豆工房に新しく1名の職員さんが仲間入りします。また7月にはもう1名も予定されています。

金子みずぶさんの詩「みんなちがってみんないい」のとおり、彩り豊かな個性あふれる仲間と、お互いを認め合い励ましあいながら作業ができることを楽しみにしています。



納豆工房の作業について

納豆工房なっとこちゃんの製造作業については、7月もこれまでと同じで変更はありません。水曜日については、15時までの作業となっていますのでお間違いのないよう、よろしくお願いします。

月刊「ワークホームだより」8月号

発行日:2022年7月21日

ワークホーム高砂 〒676-0081 高砂市伊保町中筋 1331 TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

http://workhome-takasago.org/ E-mail workhome@nifty.com

納豆工房なっとこちゃん 〒676-0082 高砂市曾根町1878-1 TEL(079)448-5400 FAX(079)448-5111

https://nattoKochan.akarinoie.org/ E-mail natto_koubou@akarinoie.org



自閉症のHさんの成長

ワークホーム高砂施設長 齋藤 克己

7月6日18時をすぎたころ、自閉症の利用者Hさんのお母さんからワークに電話が入った。「まだ、息子が帰ってこないのです」とのこと。事情を聞いてみると、17時過ぎにJRの上り線で人身事故があり、その影響で電車が止まっているとのこと。幸いにも、お母さんとHさんは携帯電話で連絡をとれる状態であり、本人は曾根駅にいますので迎えに行きたいとのことであった。事務所では職員がまだ仕事をしており、花岡支援員がすぐに曾根駅まで迎えに行ってくれた。

15分程経って花岡支援員から、「Hさんがホームにはいない」との連絡が入った。しっかり探したかを確認すると、「ホームの端から端まで一人ひとり顔を見て確認した」とのこと。駅員さんに聞いた情報では、車両は宝殿駅にも加古川駅にも停車しているとのことであった。曾根駅にいないということは宝殿駅までは行けたのではないかと判断し、花岡支援員には直ぐに宝殿駅に向かい保護するよう指示をした。そして、お母さんに電話を入れて事情を説明した。すると、「おかしいですね、さっき本人に、どこにいるの？って聞いたら曾根、曾根っていいましたけどね・・・」とのこと。Hさんとお母さんは二人暮らしで信頼関係が厚く、ましてや自閉症のHさんの日ごろの言動からしてウソをいうことなど考えられない。Hさんはやっぱり曾根駅にいますと判断し、宝殿駅に向かっていた花岡支援員に、再度戻って曾根駅の中を探してほしいと伝えたのだった。

5分くらいして再度お母さんから電話が入った。「もう一度確認して、どこにいるのかを聞いたら、今度は加古川、加古川っていっています。たぶん加古川まで帰ってきているので、そのうち帰って来ると思いますが」とのことであった。Hさんの最寄り駅は土山駅である。加古川駅まで来ているのなら自宅に近づいているのは確かで、既に事故発生からは1時間30分が経過していた。今までの経験からは、概ね2時間以内に電車は復旧するとの見通しもあり、バタバタせず待つことにし、花岡支援員には事務所に戻るよう再度連絡を入れ直したのだった。

19時頃、お母さんから「今、興奮しながら帰ってきました。ご心配をおかけしました」との電話が入った。さぞかし混乱したであろう本人のことを思い、また、帰宅するまで心配したであろうお母さんの気持ちを思い、心の中で「本当によかった！」と思うと同時に、「Hさんも成長したよな～」と、なんとなくうれしい気持ちも湧いてくるのであった。

翌日の朝、通所してきたHさんが、「おはようも言わずに私のところに来て、「昨日、電車おくれました！」と報告してくれた。「大変だったね、でも、よく頑張ったね！」と、短い会話を交わし、何事もなかったかのように作業場へ向かうHさんを見ながら、経験の積み重ねが彼らを成長させることを改めて強く感じたのであった。

《公休グループと8月・9月公休日》

4月、5月は隔週で日・月休み、6月、7月は隔週で土・日休みとこれまで試行を重ねてきました。その中で見えてきた課題については、8月、9月で取り組んでいこうと思っています。GOTOさんとの運営会議を通して課題を共有し、双方無理なく効率的な週休2日制をクリーニング工場全体として実現させたいと思っています。

不規則な公休でご迷惑おかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。(楠)

Aグループ	Bグループ
今津さん、小南さん、瀬戸内さん、藤野さん、米田さん、永田さん、岸本さん、光宗さん、竹林さん、中岸さん、玉木さん、常峰さん、小林さん、大野さん、岡本さん、玉田さん、東西さん、福田さん、池上さん、西谷さん	梅原さん、立岩さん、濱口さん、丸山さん、中村さん、松永さん、森崎さん、浅野さん、木田さん、棒谷さん、木澤さん、大内さん、船田さん、有瀬さん、森川さん、増田さん、園原さん
《8月公休日》 1(月)、7(日)、13(土)、14(日)、15(月) 21(日)、27(土)、28(日)、29(月)	《8月公休日》 6(土)、7(日)、13(土)、14(日)、20(土) 21(日)、27(土)、28(日)、
《9月公休日》 4(日)、10(土)、11(日)、12(月)、18(日) 24(土)、25(日)、26(月)	《9月公休日》 3(土)、4(日)、10(土)、11(日)、17(土) 18(日)、24(土)、25(日)
※ワークホーム高砂クリーニング作業については、水曜日は17時まで作業をおこないます。また、工賃支給日(毎月第2水曜日)については、16時30分まで作業を行いますので、お迎えの方は17時にお願います。 また、8月10(水)には工賃と同時に一時金を支給します。	



久しぶりの懇談会



7月5日よりワークホーム高砂としては2年ぶりの懇談会を開催しています。新型コロナの影響で中断していたため、私自身は、ワークホームに入社して初めての経験でした。普段、保護者の方を含めて利用者さんと話す機会が少ない為、大変有意義な懇談会となりました。利用者さんの将来の為に、また、ワークホームに通所することが楽しいと思えるように、保護者の方々からの要望・情報の共有を踏まえ今後の支援に活かしていこうと思いました。(花岡)



ゴミの分別収集実施中

今年6月より高砂市美化センターが新しくなり、それに伴い事業所から出るゴミについてはこれまで以上に細かい分別が求められるようになりました。作業現場ではプラ製品と紙類を確実に分別し、産業廃棄物と一般廃棄物に分けるようになりました。そうした事情もあり、ペットボトルの持ち帰りをお願いする次第となりました。今後もワークホーム高砂の運営にご協力をお願いします。(楠)



今回の担当は楠でした。

ついに解禁 保護者会行事

～保護者研修会～

7月3日(日)、約2年半ぶりに保護者会主催の「保護者会研修会」が開催されました。障害者支援施設あかりの家の坊垣園長を講師に迎えて、法人あかりの家が今後どのような運営を行っていくのかについて、分かりやすく説明していただきました。保護者の方々も熱心に聞かれていました。新型コロナウイルスの流行で人が集まることができず、利用者さんが楽しみにしていた保護者会行事が全て中止となっていました。今後は感染に注意しながら徐々に開催できるのではと期待しています。(楠)



法人研修会開催



7月10日(月)、法人あかりの家の「法人事例研究会」がオンラインでおこなわれました。法人内の他事業所と関わる研修会は今回が初めてだった為、普段どのような取り組みをしているのかを知れる良い機会となりました。また、ノートルダム清心女子大学の青山先生も参加していただき、発表に対してわかりやすいコメントをして下さいました。その中で「リアルな生活の充実が大事」と言う言葉が印象的でした。ワークホームを利用されている利用者さんは1日の大半をワークホームで過ごされている為、充実した生活を送ってもらうには非常に大事な役割を担っているのだと感じました。今回の研修会で学んだことを今後の支援に活かしていきたいと思います。(野村)

私たちの3カ月 ～新任職員3ヶ月の振り返り～

ワークホーム高砂に入社して3カ月が経ちました。初めの頃は利用者さんの名前を覚えることや作業の流れを覚えることで頭がいっぱいでしたが、周りの先輩職員や利用者さんに丁寧に教えてもらいながら何とかついていくことができました。利用者さんの頑張っている姿をみると僕自身も負けてはいられないという気持ちで毎日取り組んでいます。まだまだ未熟者で不安なこともあります。これから職員・利用者さんと連携しながら楽しく仕事をしていきたいと思っています。(長瀬)



ワークホームに来てからの3カ月は、とても短く感じました。覚えることやすることがたくさんあり、いまだに覚えられていないことを、先輩職員や利用者さんに助けてもらうこともあります。毎日が目まぐるしく感じているのですが、4月の自分よりは成長できていると信じて、今後も頑張っていきたいです。これからもご迷惑おかけすることもあると思いますが、よろしくお願いします。(関)



ワークホームでの仕事は毎日新鮮な事ばかりで、この3カ月は本当にあっという間に過ぎました。まだまだ分からない事や失敗も多いですが、あたたかい利用者のみなさまや先輩職員に支えられながら頑張っています。これからもどうぞよろしくお願いします。(重田)



実習生受け入れ



いなみ野特別支援学校高等部2年生の前田真輔さんが6月20日から6月24日までの5日間、クリーニング・たたみ班で実習を行いました。やる気が空回りしないか心配になりましたが緊張をしながらも5日間しっかり作業を行う事が出来ました。立ちっぱなしの作業で足を辛そうにされていることもありましたが、集中力を保って取り組んでくれました。最終日に感想を聞くと「疲れました。もう実習に来たくないです!!」と返答されました。初めての实習で本当に疲れたんだと感じました。最後に本人の本音が聞けて良かったと思っています。(吉中)



納豆工房 なっとこちゃん

今年も+NUKUMORI マルシェに出店

7月15日(金)に兵庫県庁1号館中庭で開催された「第18回+NUKUMORI マルシェ」に参加してきました。なっとこちゃんは今回で3回目の参加になります。蒸し暑く、天気もあやしい中での開催でしたが、前回より10セット多い50セット分、計300個ほどを販売してきました。やはり神戸の様に東の地域では、「まだまだ知名度低いなあ」「もっとPRが必要だなあ」と感じました。応援よろしくお願いします。(山口)

ヤマダストアから新しいラインナップ!!

毎日なっとこちゃん 6食セット 販売開始!!

ヤマダストアとのコラボ商品で『毎日なっとこちゃん』を販売中(須磨店・北野店限定販売)。

タレ・からし抜き、なっとこちゃん(大粒ゆきほまれ)になっていますので、その分お値段もお得です。「自分好みのタレで食べたい」「料理に使うからタレやからしがあまる…」といった方にもピッタリです。(山口)



納豆工場の作業について

作業終了時間は基本全日16時です。工賃日の作業は15時までですが、「ティータイム」をして16時終了になります。会議日のみ15時終了ですのでお願い致します。会議日:8/5(金) 8/19(金)

また、8月10(水)には工賃と同時に一時金を支給します。

月刊「ワークホームだより」9月号

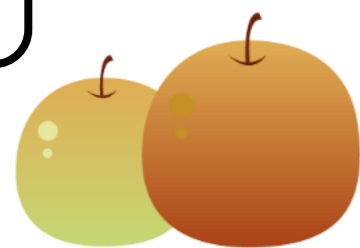
発行日:2022年 8月24日

ワークホーム高砂 〒676-0081 高砂市伊保町中筋 1331 TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

http://workhome-takasago.org/ E-mail workhome@nifty.com

納豆工房なっとこちゃん 〒676-0082 高砂市菅根町1878-1 TEL(079)448-5400 FAX(079)448-5111

https://nattokochan.akarinoie.org/ E-mail natto_koubou@akarinoie.org



興味の幅を広げる

ワークホーム高砂施設長 齋藤 克己

NHKのEテレ番組「100分de名著」をご存じですか。

この番組は、様々なジャンルの名著を専門家が読み解いていく内容で、月曜日の夜10時30分から11時まで放送されています。1か月ごとに1冊の本を読み解いていくスタイルで、番組の中で解説者は、著者が何を訴えようとしているのかをページを追いながらわかりやすく解説してくれます

私はこの番組を数か月前から見始めた新人ですが、この番組の良いところは、これまで興味のなかったジャンルの本にも触れられるところです。専門家からのわかりやすい解説があることで興味の分野を新しく広げることができています。例えば、ふらっと大きな書店へ入って本を何気なく手にする場合、私はどうしても興味のあるコーナーに足を運び、気が付けば見慣れたタイトルの本を手に行っているのが常でした。しかし、こうした日常では、興味の幅が広がりにくく、新たなジャンルへ歩めないもどかしさをいつも感じていました。だからといって、これまで触れたことの無いジャンルの本を手を取ることはハードルが高いといえます。その点、この番組を見始めてからは、その筋の専門家の丁寧な解説を交えて「名著」に触れることができるので、以前は全く興味のなかったジャンルにも挑戦しやすくなり、書店へ行ってもこれまでは手に取ることのなかった本を手にするようにもなりました。

番組の6月は「砂の女」という阿部公房の小説が取り上げられました。大学時代に友人の部屋で「阿部公房」の小説を目にしたことはありましたが読んだことはなく、番組をとおして初めて阿部の小説の面白さに出会いました。7月はあの有名な「太平記」で、能楽師の安田昇さんが解説を担当していました。コロナ禍で揺れる今を鎌倉から室町へと移る「あわい」の時代と重ねながら解説してくれました。そして、8月は「forティーンズ・・・運命の一冊に出会う旅を」というテーマで、ティーンエイジャーに届けたい名著4冊が週替わりで取り上げられる特別企画となっています。1週目はトルストイの「人は何で生きるのか」、2週目はポール・ナース「WHAT IS LIFE? 生命とは何か」、3週目はバルファクス「父が娘に語る経済の話」、そして第4週は「竹取物語」が放送されます。この取り上げられている本のタイトルをみるだけでも、幅の広さを知ることができるのではないのでしょうか。

「幅の広さ」は、物事を判断する思考を養ううえでは欠かせない視点です。ポール・ナース「WHAT IS LIFE? 生命とは何か」の解説を担当していた作家でサイエンスライターの竹内薫さんがとても気になる指摘をしていましたので、今回はそれを引用して終わりにします。

「私たちは自分にとって都合のいい情報、自分が好む情報ばかりを集めがちです。とくにインターネットで調べものをするときに注意してほしいのは、一度検索すると、システムによってそれと同じ傾向のキーワードや記事ばかりが出てくることです。同じ傾向の記事ばかり読むうちに、いつのまにかそれが真実だと思い込んでしまうのです。これはフィルターバブルといって、本当は発信されている情報のうちのほんの一部であるバブルの中に閉じ込められてしまう現象です。

ですので、みなさんには、なるべくいろいろな情報にアクセスして、価値のある情報を仕入れ、見定める術を身につけてほしいと思います」

《公休グループと9月・10月公休日》

4月から週5日作業日を試行してきましたが、その中で見えてきた課題については9月、10月で取り組むこととしています。10月につきましては土日休みを3回にして試行させていただきます。不規則な公休でご迷惑おかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願いします。(楠)

Aグループ	Bグループ
今津さん、小南さん、瀬戸内さん、藤野さん、米田さん、永田さん、岸本さん、光宗さん、竹林さん、中岸さん、玉木さん、常峰さん、小林さん、大野さん、岡本さん、玉田さん、東西さん、福田さん、池上さん、西谷さん	梅原さん、立岩さん、濱口さん、丸山さん、中村さん、松永さん、森崎さん、浅野さん、木田さん、棒谷さん、木澤さん、大内さん、船田さん、有瀬さん、森川さん、増田さん、園原さん
《9月公休日》 4(日)、10(土)、11(日)、12(月)、18(日) 24(土)、25(日)、26(月)	《9月公休日》 3(土)、4(日)、10(土)、11(日)、17(土) 18(日)、24(土)、25(日)
《10月公休日》 2(日)、8(土)、9(日)、15(土)、16(日) 17(月)、23(日)、29(土)、30(日)、31(月)	《10月公休日》 1(土)、2(日)、8(土)、9(日)、15(土)、16(日) 22(土)、23(日)、29(土)、30(日)
※ワークホーム高砂クリーニング作業については、水曜日は17時まで作業をおこないます。また、工賃支給日(毎月第2水曜日)については、16時30分まで作業を行いますので、お迎えの方は17時をお願いします。	



より快適な作業環境へ!



この机は今回職員で作った新しい机です♪

7月30日(土)に作業場のレイアウトを変更しました。今回はたたみ班の作業台を増築し、作業場所の変更をおこないました。今までより作業スペースが広くなり、全体的に余裕を持って作業ができるようになりました。今後も利用者さんが快適に作業できる環境を作っていきたいと思います。(野村)



場所が変わっても余裕の表情です!

今回の担当は重田でした。



空腹時の健康診断！



7月23日(土)、ワークホーム高砂において利用者さんの健康診断を実施しました。今年初めて受ける利用者さんもいたのですが、特に大きな混乱もなく全員朝食抜きで健康診断を受ける事ができました。採血が苦手な利用者さんも年々採血に慣れてきており、成長されている様子を見る事ができ嬉しい気持ちになりました。

今回の健康診断は新型コロナウイルス感染予防の為、3密を避ける配慮をした健康診断となりましたが、保健センター職員の方々と支援員の協力のもと無事に終える事ができました。何よりも健康が第一です。今回の検査結果を踏まえ、精密検査の必要性があれば病院受診やかかりつけ医への報告を宜しくお願い致します。(久木原)



久木原看護師いつもお疲れ様です!!

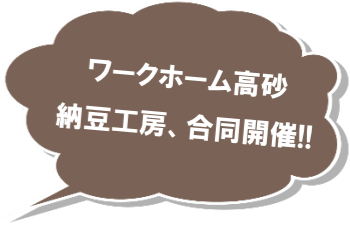


船田さん、木田さんは初めての健康診断でした!



本年度はじめての事業所説明会

8月11日(木)、今年度初めての事業所説明会を納豆工房と合同で開催しました。今回は、新型コロナウイルス第7波の影響でキャンセルも多くあり大幅に人数は減りましたが、6家族11名の方が参加して下さいました。保護者の方々は真剣に説明を聞いてくださり、今後の進路について色々と考えている様子でした。いつも説明会ではお伝えする事ですが、「初めからできる人はいません。できないと決めつけずに挑戦することが大切」と、お話をさせていただきました。今後もこうした説明会を開催し、保護者さんとお子さんが将来を考えるきっかけづくりのお手伝いできればと願っています。(楠)



高砂市長見学

7月20日、あかりの家・ワークホーム高砂・納豆工房へ都倉高砂市長が見学に来られました。職員・利用者にあたたかい激励のお言葉をいただきました。ありがとうございました。



職員、ただいま勉強中!!

オンラインで『てんかん』を学ぶ

7月30日(土)、利用者さんの全員公休日を利用して本年度6回目となる学習会をおこないました。今回は、『てんかん基礎講座』をワークホーム職員全員でオンライン視聴し、新人、ベテラン職員ともに改めて「てんかん」の対応について学びを深めることが出来ました。

てんかん発作は、名前を聞いたことはありましたが、詳しくは知らなかった所以对応やどんな症状があるのか、また、命にかかわるケースもあることをこの講座で聞いて良かったです。動画もあったので実際の場面のイメージができました。もし利用者さんがてんかん発作を起こした時に対応できるように、しっかり覚えておきたいと思いました。(関)



“なつとこちゃん”いざ大阪へ!!

“NU茶屋町”で開催されている、納豆マガジン第2弾の発売記念イベント『粘覧会(ねばらんかい)』に8月20日に行ってきました。(土)(日)は直売会を行うという事で、“なつとこちゃん”も宣伝を兼ね販売してきました。アパレルや納豆グッズ、今回はひきわり納豆特集で各地のこだわり納豆も販売されていました。(山口)



【今月の予定と作業について】

納豆工房の9月の予定は、工賃支給日が8/14(水)、会議日が8/9(金)、23(金)となっております。作業終了時間は基本全日16時です。工賃支給日の作業は15時までですが、“ティータイム”をして16時終了になります。会議日のみ15時終了ですのでお願い致します。

播淡地区施設長、職員合同研究会

8月24日(水)、リモートにて合同研究会に施設長と花岡が参加しました。今回のテーマは「事業継続計画・意思決定支援・障害者虐待防止」についてでした。新型コロナ感染者が出た時や自然災害が起きた時に即時対応できるように事前に対策を考えておくことの大切さを学びました。また、意思決定支援・障害者虐待防止法を改めて学び、職員全員で共有したいと思いました。ワークホームの利用者がより良い環境で働いていけるように支援していこうと決意を新たにしました。(花岡)





月刊「ワークホームだより」10月号

発行日:2022年 9月22日

ワークホーム高砂 〒676-0081 高砂市伊保町中筋 1331 TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

http://workhome-takasago.org/ E-mail workhome@nifty.com

納豆工房なっとこちゃん 〒676-0082 高砂市菅根町1878-1 TEL(079)448-5400 FAX(079)448-5111

https://nattokochan.akarinoie.org/ E-mail natto_koubou@akarinoie.org



「共生社会」の実現と障害児分離教育

ワークホーム高砂施設長 齋藤 克己

8月9日、国連の障害者権利委員会は日本政府に対し、障害児を分離した特別支援教育の中止を強く要請し、教員の意識改革を図り障害児教育に関するスキルの向上を図るための研修等を充実させることを勧告しました。9月10日の神戸新聞によれば、「勧告には拘束力はないが、尊重することが求められる」とあり、日本政府に対して勧告が行われるのは、障害者権利条約を締結した2014年以来初めてのことです。

そもそも「特別支援学校」はどのような目的で設置されているのでしょうか。学校教育法第72条には、「特別支援学校は、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者(身体虚弱を含む。以下同じ。)に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。」と、示されています。「困難を克服し自立を図る」という言い方は違和感を覚えますが、この目的に対して全面的に異論を唱える人はそう多くはないでしょう。しかし、今回の勧告の趣旨は、こうした設置目的ではなく、特別支援教育を「配慮を必要とする子ども」と「配慮を必要としない子ども」とに分けて行うことに意義を唱えたものと考えられます。実は、養護学校が義務化された1979年当時から分離して教育を行うことへの批判は少なからずありました。反対の理由としては、「子どもは同じ場で育ってこそ互いを理解しあえるのであり、障害児と健常児を分離して教育することは差別を助長することにつながる」との考えからでした。

私は、こうしたテーマを考える際、どのような社会を我が国が目指していくのか、そしてその国家像を実現するために「国民教育」をどう位置付けるのかという大きな方向性との関係で整理していくことが必要であると考えています。そういう意味では、これからの日本社会は多様な価値を尊重しあう「共生社会」の実現こそが具体的な国家像として描かれなければならないと思います。個人の自立を助長するという視点に加え、自分とは異なる他者を尊重する精神を培う教育という視点をもっと重視されなければならないのではないのでしょうか。そのためには、小さいときから「異なる存在」と一緒に学び励ましあえる環境を設定することが必要であり、「特別支援学校」という「制度」がその邪魔をしていると言えなくもないでしょう。

広い社会の中には自分とは異なる人が多くいるという現実を知ること。そして、異なる考え方や存在を認めたくて、手を繋ぎあえる「人」を育てることが「共生社会」の実現には必要です。そういう意味において今回の勧告が、改めて我が国の「教育」を考える契機となり、障害児を子ども集団から切り離す分離教育が見直され統合型の障害児教育へとシフトしていくきっかけになることを強く願っています。

《公休グループと10月・11月公休日》

Aグループ	Bグループ
今津さん、小南さん、瀬戸内さん、藤野さん、米田さん、永田さん、岸本さん、光宗さん、竹林さん、中岸さん、玉木さん、常峰さん、小林さん、大野さん、岡本さん、玉田さん、東西さん、福田さん、池上さん、西谷さん	梅原さん、立岩さん、濱口さん、丸山さん、中村さん、松永さん、森崎さん、浅野さん、木田さん、棒谷さん、木澤さん、大内さん、船田さん、有瀬さん、森川さん、増田さん、園原さん
《10月公休日》 2(日)、8(土)、9(日)、15(土)、16(日) 17(月)、23(日)、29(土)、30(日)、31(月)	《10月公休日》 1(土)、2(日)、8(土)、9(日)、15(土) 16(日)、22(土)、23(日)、29(土)、30(日)
《11月公休日》 5(土)、6(日)、7(月)、13(日)、19(土) 20(日)、26(土)、27(日)	《11月公休日》 5(土)、6(日)、12(土)、13(日)、19(土) 20(日)、26(土)、27(日)
※ワークホーム高砂クリーニング作業については、水曜日は17時まで作業をおこないます。また、工賃支給日(毎月第2水曜日)については、16時30分まで作業を行いますので、お迎えの方は17時をお願いします。	

利用者さんの新型コロナ感染ゼロ！ ～ありがとう井野先生！～

ワークホーム高砂では、嘱託医である井野先生に月に一度来所していただき、衛生委員会と嘱託医師の指導の時間を設けています。会議では、職員の時間外労働の確認を行い過重労働が無いことを確認するほか、利用者さんの体調不良の相談や感染症対策などが議題に上がります。最近、特に新型コロナウイルス感染症についての話題が多く取り上げられています。日々刻々と状況が変わり情報が錯綜する中、医療現場におられる井野先生の助言や情報は非常に貴重です。それらをもとに職員へ情報を提供し共有しながら感染症対策に取り組み、ワークでは未だに一人の利用者さんも感染していません。これからも、井野先生のアドバイスを参考にしながら、事業所内の感染症対策と利用者さんの健康管理に取り組みたいと思います。(久木原)



～ 保護者役員会にて作業の現状と課題を共有！ ～



9月11日(日)、ワークホーム高砂多目的室において保護者役員会が開催され9名の役員の方が出席されました。今回は、作業現場責任者による作業の現状と課題についてというテーマで話し合いが行われ、ワークホーム高砂からは楠がクリーニング作業の5日稼働の状況について、また、納豆工房なっとこちゃんからは山口課長が納豆工場の生産状況とヤマダストアさんとの良好な関係についてお話をしてくださいました。保護者からは、特にクリーニング作業の5日稼働の実証実験に関連して「休日を固定してほしい」といった意見や感染症対策として衛生区域での作業を今後も継続してほしいとの要望が出されるなど、率直な意見交換がなされました。(楠)

今回の担当は 関歩未 です

まるでタコの足？！

～クーラーの吹き出し口を増設～

5月に老朽化していたクーラーが新しくなり、涼しい風が作業場に届くようになりました。しかし、スポットクーラーは吹き出し口の下にしか風が届かないため吹き出し口から離れている利用者さんには届きにくいという問題がありました。このたび、こうした課題を解決するために、吹き出し口の増設工事をおこないました。利用者さんが作業している頭の上に確実に風が届くようにタコの足のようにダクトが張り巡らされています。直接の風はもちろんの事、空気が循環されるので工場全体の空気もひんやりと感じます。また一段と過ごしやすい環境になっています。(重田)



お昼休憩に新たな楽しみを

お昼休憩の時間に利用者さんが自由に使えるパソコンを導入しました。スマートフォンを持っていない利用者さんは、今までは新聞を読んだり持ってきた本を読んだりしていましたが、今後はPCで自分の好きな動画やサイトを見たりと、休憩時間の内容が広がると思います。(関)



クリーニング作業に関する資格取得をめざして

《クリーニング師試験》



8月23日にクリーニング師試験を吉中・花岡・野村・長瀬の4名で受けて来ました。クリーニング業務を行なう上で、クリーニング師の資格は事業所の中で最低1人以上が持つ必要がある国家資格になります。今回4人で講習会やアイロンの実技講習に参加させてもらい、クリーニングの歴史や法律など初めて聞くことばかりでしたが、たくさん事を学ぶことが出来ました。試験は筆記と実技(アイロン仕上げ、薬品の鑑別、繊維の鑑別)があり、手ごたえとしてはそれぞれありますが、10月に結果発表があり一人でも多くの合格発表をお伝えできればと思っています。(長瀬)

《危険物取扱者乙4資格試験》

危険物取扱者試験乙4をワークホーム所属の吉中、野村、花岡、長瀬が受験してきました。全員がサッカーばかりやってきて、まともに勉強をしてきていない人生を送ってきた僕たちですが、仕事終わりにエナジードリンクを摂取し必死に勉強してきました。合格発表はまだ先ですが、良い報告ができると思います。(花岡)



新ユニフォームできました！！

Tシャツバージョン、ポロシャツバージョンのユニフォームが出来ました。皆これを着ると、あふれんばかりのやる気が出るはず。「情熱は上限いっぱい」の表示が…。



『なっとこちゃん海を渡る？いや橋を渡る！』

9月17日(土)淡路 ONOKORO で行われた+NUKUMORIのイベントに行ってきました。台風が近づいてきており、風が強い中での販売でしたが、淡路や神戸の事業所の方とも知り合え勉強になりました。



〈納豆工場の今月の予定〉

工賃支給日は10/12(水)です。
10/7(金)、21(金)は、職員会議を予定しております。
お迎えは、15時でお願いします。

GOTOさんとの運営会議を開催中！

現在、月に一度GOTOさんとの運営会議(現場会議)を開催しています。メンバーはGOTOさんからは岡本工場長さんと現場責任者の中鉢さんが、ワークホームからは楠課長補佐と吉中が出席しています。主な議題は週5日稼働の実証実験についてで、機械の入れ替えについても重点的な検討議題になっています。週5日稼働については、公休日の変動するため利用者さんとご家族の方に大変ご迷惑をおかけしていますが、この問題についてはできるだけ早くGOTOさんと合意し固定した公休日となるよう努力したいと思います。また、機械の入れ替えについては、高齢化と重度化への対応という視点からGOTOさんに理解してもらえようしっかりと伝えていきたいと考えています。(吉中)



月刊「ワークホームだより」11月号

発行日:2022年 10月25日

ワークホーム高砂 〒676-0081 高砂市伊保町中筋 1331 TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

http://workhome-takasago.org/ E-mail workhome@nifty.com

納豆工房なっとこちゃん 〒676-0082 高砂市菅根町1878-1 TEL(079)448-5400 FAX(079)448-5111

https://nattokochan.akarinoie.org/ E-mail natto_koubou@akarinoie.org



障害者の暮らしの場を考える

ワークホーム高砂施設長 齋藤 克己

大学を卒業して初めて就いた仕事は、当時の呼び名では「精神薄弱者入所更生施設」の「生活指導員」でした。かなり重い知的障害を有する方の生活を支援する仕事で、あれから約40年が過ぎました。

先日、久しぶりに当時の利用者と再会する機会を得ました。自分のことは棚に上げて「随分とみんな歳をとったな～」と感じました。当時20代だったダウン症の方は60代半ばを過ぎ、奥まった目の周りはしわだらけ、腰も少し曲がって小さくなった印象でした。比較的軽度で一度はグループホームへ出て生活していた男性の方は、70歳近くになっていました。グループホームでの暮らしを約20年経験され、高齢に伴う身体の衰えが目立ち始めたため、暮らしの場を施設に戻したのだと聞かされました。行動障害が激しく自傷やこだわりがきつかった当時養護学校に通っていた女性の方は、今も壁や床に額をぶつける激しい自傷があり、椅子がいつもと違う場所にあると必ず元の位置に戻すこだわり行動は今も継続しているとのことでした。

それでもみんななどことなく明るく元気そうで、老齢化に伴う「悲壮感」は伝わってきません。たぶんそれは、若い職員達が明るく様々なアクティビティを日々提供していることに加え、食事や入浴や睡眠などの生活リズムも施設スケジュールのなかで「流れるように」整えられているからなのだろうと思います。また、よく話題に出る「季節に合った服装」についても、「衣替え」が職員業務の中で施設文化として根付いていて、夏から秋への難しい変化にもスムーズに対応できているのだと感じました。

昔の施設は、「貧しさの象徴」「自由のない暮らし」「自己意思が無視される集団生活の場」というマイナスイメージが常に付きまとっていました。それからみれば、今の入所施設は、大きく変化してきている印象があり、帰りの車中で改めてこの40年の彼らの暮らしをどう評価すべきなのかを悩んでいました。

10月17日の神戸新聞に「障害者地域へ生活移行4.9% 政府目標の半分 施設入所12万人超」という見出しの記事が掲載されました。記事の内容は、入所施設に入っている全国の障害者のうち、自宅やグループホームなど地域社会での生活に移った人は2020年度末までの4年間で約6,300人、政府目標の約半分しか進んでいないというものでした。

障害者の生活の場を「入所施設から地域へ」というスローガンを掲げて取り組み始めて四半世紀近くが経過しました。取り組み始めた当初は軽度者が多くいたこともあり、地域移行は比較的進んでいたように思います。しかし、現在の入所施設は、高齢化と重度化が進んでいて簡単に地域移行を進められないのが現実です。むしろ、グループホームで暮らしていた障害者が入所施設にUターンしてきているのです。それでも、「地域の暮らし」が価値あるものとして今後も推進していくのであれば、関係者や地域住民にもっとその価値を共有してもらわなければならないでしょう。「施設」が地域から隔離されているという一方向的な見方だけではなく、何故高齢化した地域の障害者が今また施設に戻り始めているのかを分析し、地域資源の何が足りないのか、どのようなサービスを今後豊かに展開する必要があるのかをしっかりと考える時期に来ていると思っています。

《公休グループと11月・12月・1月公休日》

Aグループ	Bグループ
今津さん、小南さん、瀬戸内さん、藤野さん、米田さん、永田さん、岸本さん、光宗さん、竹林さん、中岸さん、玉木さん、常峰さん、小林さん、大野さん、東西さん、福田さん、池上さん	梅原さん、立岩さん、濱口さん、丸山さん、中村さん、松永さん、森崎さん、浅野さん、木田さん、棒谷さん、木澤さん、大内さん、船田さん、有瀬さん、森川さん、増田さん、福田(し)さん
《11月公休日》 5(土)、6(日)、7(月)、13(日)、19(土) 20(日)、26(土)、27(日)	《11月公休日》 5(土)、6(日)、12(土)、13(日)、19(土) 20(日)、26(土)、27(日)
《12月公休日》 3(土)、4(日)、5(月)、11(日)、17(土) 18(日)、25(日)、30(金)、31(土)	《12月公休日》 3(土)、4(日)、10(土)、11(日)、17(土) 18(日)、25(日)、30(金)、31(土)
《1月公休日》 1(日)、2(月)、3(火)、8(日)、14(土) 15(日)、16(月)、22(日)、29(日)	《1月公休日》 1(日)、2(月)、3(火)、8(日)、14(土) 15(日)、21(土)、22(日)、29(日)
<p>※ ワークホーム高砂クリーニング作業については、水曜日は17時まで作業をおこないます。また、工賃支給日(毎月第2水曜日)については、16時30分まで作業を行いますので、お迎えの方は17時にお願ひします。</p> <p>※ 今回は1月までの予定を出しますが、1月については変更も考えられますのでご了承下さい。</p> <p>※ 12月24日(土)はささやかなクリスマス会を予定しています。9時に通所、昼食後帰宅予定としておりますのでお願ひします。詳細は次号でお知らせします。</p> <p>※ 1月28日(土)もレク日を設定しています。詳細については次月のワークホーム便りでご確認願ひします。</p> <p>※ 4月より試行してきました週5日稼働も隔週から月3回にまで増やすことができるようになりました。週5日制導入により水曜日に行っていたサークル活動等の余暇活動については、今後土曜日を活用したいと思ひます。詳細については、今後発信する予定です。</p>	

これで安心!!ブルーシートを張り替えました♪

台風対策で玄関先のブルーシートを外してしまいました。水が溜まりやすくボロボロだったため、9月24日新しいブルーシートにGOTOさんと一緒に張り替えました。水がたまらないように足場を斜めに組み直し、木材を貼り付け水が外側に流れるようにしました。次の日、男性職員全員筋肉痛がきました(笑)。(花岡)



今回の担当は長瀬圭佑です

いなみ野特別支援学校 見学会

10月13日、いなみ野特別支援学校中等部2年生の21名が見学に来られました。中等部2年生ということもあり、初めて福祉事業所を見学する生徒さんもたくさんいました。これから中等部を卒業して高等部へと進む中でできるだけ多くの事業所を見学し、「自分にあった事業所を見つけ大人になったら働きましょう!」とお話しました。また、現場では作業にも挑戦していただきました。今回の見学・体験が、少しでもより良い経験となれば幸いです。(吉中)



～実習生情報～

東はりま特別支援学校高等部3年生の泉百花さんと田中智樹さんの2名が10月3日から7日までの5日間、クリーニングのたたみ班で実習を行いました。泉さんは2回目、田中さんに関しては3回目の実習で2人とも緊張することなく5日間しっかり作業を行う事が出来ました。立ちっぱなしの作業とあって、足を辛そうにされていることもありましたが、集中力を保って取り組んでくれました。最終日に感想を聞くと「疲れたけど楽しかった。ワークホームで仕事がしたい。」と初日には見られなかった笑顔で伝えて来られました。今回の実習により、二人の進路が決まります。来春にはワークの仲間になっているかもしれないですね!(吉中)



虐待防止対応力向上研修に参加して

10月9日、県社会福祉士会が主催する「虐待防止対応力向上研修」に参加しました。今回の研修はグループワークがメインで、グループで演習課題について話し合いを行い発表するという形でした。講師として弁護士と社会福祉士の先生が来られており、発表に対してコメントをしてくださいました。弁護士の先生が来られていたこともあり、法律に関する話を詳しく聞くことができました。また、普段は他の事業所の方たちと話をする機会が少ないのでとてもいい経験になりました。今回の研修で学んだことを意識して日々の支援に取り組んでいきたいと思えます。(野村)



～行動援護研修を終えて～

10月1日、2日、15日、16日の4日間、長瀬と重田でNPO法人パレット主催の行動援護従事者養成研修に参加してきました。今回はあかりの家から7名の講師が講義をされていて、その豪華な講師の中には我が齋藤施設長もおられました!講義では、強度行動障がいをお持ちの方の基礎の知識から、かなり具体的な支援の組み立て方など、細かいところまで演習を交えながら学ぶことができました。今回の研修で得られた貴重な知識を自分のものにし、現場でしっかりと活かしながらこれからも頑張ろうと思いました。(重田)

納豆工房なっとこちゃん

祝

おかげさまで2周年!



納豆工房なっとこちゃんが2周年を迎えることができました。利用者さん・職員の協力、そしてなっとこちゃんファンであるお客様のおかげです。本当にありがとうございます!!

2周年記念として、**10月19日～11月19日までポイント2倍**を実施しております。またアンテナショップで**1000円以上お買い上げの方には先着で記念品**もお渡ししております。ぜひお越しください。



就労支援 B型スタート

10月より、納豆工房は生活介護に加え就労継続支援B型もスタートしました。

それに伴い西谷優輝さん、園原侑真さん、玉田弘美さん、岡本年世さんが新たに納豆工房メンバーとなりました!合計11名の利用者となり、賑やかに作業をしています。



暑い夏を乗り越えられました!

保護者会より頂きました熱中症対策のアクエリアスで、全員暑い夏を乗り越えることができました。ありがとうございました!!



《11月予定》

11/9 工賃支給日 16時終了

11/4、11/8 会議日 15時作業終了

月刊「ワークホームだより」12月号

発行日:2022年 11月24日

ワークホーム高砂 〒676-0081 高砂市伊保町中筋 1331 TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

http://workhome-takasago.org/ E-mail workhome@nifty.com

納豆工房なっとこちゃん 〒676-0082 高砂市菅根町1878-1 TEL(079)448-5400 FAX(079)448-5111

https://nattokochan.akarinoie.org/ E-mail natto_koubou@akarinoie.org



その人らしい豊かな人生の応援を

ワークホーム高砂施設長 齋藤 克己

ワークホーム高砂の利用者である小南政英さんが、全国障害者スポーツ大会栃木大会の1500m 走で銀メダルを獲得しました。その後広島で開催されたスペシャルオリンピックスのリレーでは金メダルを獲得し、大会を終えて通所してきた朝に私のところまで来てうれしそうにメダルを見せてくれました。小南さんの誇らしく嬉しそうな表情を見ながら、「よく頑張ったね、すごいね、おめでとう！」と輝くメダルを見つめながら、「人生を豊かに生きるとはこういうことなのではないか」と改めて考えさせられました。

私たちの事業所は、工賃を少しでも多く利用者さんにお渡しできるよう日々頑張っています。それは、何よりも利用者さんの暮しを支えるためには「お金」が必要だからであり、その責任の一端を私たちが担っていると思うからです。しかし、その「お金」がどれだけ有効に彼らの人生に活かされているのでしょうか。保護者懇談会で利用者さんや保護者の方と工賃について話をすると、「工賃を貯めて好きなものを買っています」と教えてくれます。「どんなものを買っていますか？」と少し入り込んで聞いてみると、「ゲームのソフト」と明確に答えてくれる利用者さんもいますが、「そうですね・・・」と答えにくそうに言葉を濁す利用者さんもいます。それは、好きなものといっても明確に「これ！」といったものがあるわけではなく、「買い物に行ったときになんとなくお菓子とか、パンとか」と、その時々で購入する内容が異なることがなんとなく伝わってきます。お菓子やパンが悪いわけではないのですが、目的をもって工賃をそれに当て込んでいる人の話を聞くと、「お金」が活きていて、その人の人生の広がりや豊かさに役立っていると実感させられます。

これまで私たちは、工賃を少しでも多く支給するためにはどうしたらいいのかを追求してきてはいますが、そのお金の有効な使い道について議論し、利用者支援に活かすことを少し怠っていたように思います。小南さんのお母さんとお話をしていたとき、彼の工賃の多くは遠征費や大会参加費でほぼ消えていくのだとおっしゃっていました。シューズやユニフォームの経費もばかにならないとも聞いたことがあります。しかし、「自分で働いて得たお金なのでそれでいいのだと思っている」とも話されていました。そういう意味では、小南さんの人生にとって「ワークホームの工賃は活きている」と言えるのではないのでしょうか。

一人ひとりの人生は、その人が決めて行けばいいし、その人生の価値も本人が判断すべきものです。しかし、少なくとも私は、小南さんのアスリート人生を素晴らしいと思いますし、見習いたいとも思います。

何かに打ち込めるものがあること、そして、そのことを通じて人生が豊かになるよう、

お金の使い方を含めてその人らしい豊かな人生を応援していける事業所でありたいと思います。



《公休グループと12月・1月公休日》

Aグループ	Bグループ
今津さん、小南さん、瀬戸内さん、藤野さん、米田さん、永田さん、岸本さん、光宗さん、竹林さん、中岸さん、玉木さん、常峰さん、小林さん、大野さん、東西さん、福田さん、池上さん	梅原さん、立岩さん、濱口さん、丸山さん、中村さん、松永さん、森崎さん、浅野さん、木田さん、棒谷さん、木澤さん、大内さん、船田さん、有瀬さん、森川さん、増田さん、福田(し)さん
《12月公休日》 3(土)、4(日)、5(月)、11(日)、17(土) 18(日)、25(日)、30(金)、31(土)	《12月公休日》 3(土)、4(日)、10(土)、11(日)、17(土) 18(日)、25(日)、30(金)、31(土)
《1月公休日》 1(日)、2(月)、3(火)、8(日)、14(土) 15(日)、16(月)、22(日)、29(日)	《1月公休日》 1(日)、2(月)、3(火)、8(日)、14(土) 15(日)、21(土)、22(日)、29(日)
※ ワークホーム高砂クリーニング作業については、水曜日は17時まで作業をおこないます。また、工賃支給日(毎月第2水曜日)については、16時30分まで作業を行いますので、お迎えの方は17時にお願ひします。	
※ 12月24日(土)はささやかなクリスマス会を予定しています。9時に通所、昼食後13時帰宅となりますのでお願ひします。	
※ 1月28日(土)もレク日を設定しています。防災総合訓練を予定しています。9時通所、12時30時帰宅を予定しています。変更がありましたら次月号でお知らせいたします。	

ワークホーム トイレ

WHのWCにシャワー&ウォシュレット!?



女子トイレの一番奥の個室にシャワー、ウォシュレット、汚物処理機を取り付ける工事が行われました。工事期間中は思うようにトイレが使えない不便の中、皆さんにご協力いただいて、順調に工事が進みました。女性だけでなく場合により男性も使用していただく予定ですので、利用者さんへの排泄支援がより充実したものになるといいなと思います。(関)



今回の担当は重田桃華です

おめでとう小南さん！！

「全国大会で見事銀メダル!!」

先月から「全国障害者スポーツ大会とちぎ大会」や「スペシャルオリンピックス広島大会」に出場した小南さんですが、今回見事に金メダル(スペシャルオリンピックス広島大会リレー)と銀メダル(全国障害者スポーツ大会 1500m走)を取って帰ってきました。ウサイン・ボルトを彷彿とさせるメダルの量で職員全員、驚きました。

朝礼の時間に皆さんの前で齋藤園長からメダルをかけてもらい、誇らしげな表情でした。

小南さん、おめでとうございます！

これからも職員一同応援させていただきます。

目指せ世界チャンピオン！(村上)



給食会議を開催

11月9日、納豆工房において、今年度2回目の給食会議を開催しました。ワークホームからは、齋藤施設長と花岡、納豆工房からは長谷川施設長と木澤が参加しました。現在、給食を提供してもらっている「ひでかつ給食」の岡田栄養士に、ワークホームと納豆工房の意見・要望を伝えました。利用者さんが安全に美味しく食べられるように今後も会議を実施していきたいと思いました。(花岡)

新人職員、勉強中…

播淡地区施設長会職員研修会

11月7日、播淡地区施設長会職員研修会にリモートで参加しました。

研修会のテーマは「スヌーズレンを使った余暇支援」でした。利用者さんの余暇の過ごし方についてはワークホームでも度々話題に上がるのでとても興味深い内容でした。私は今回の研修で初めてスヌーズレンという言葉を知りました。皆さんはご存じでしょうか。スヌーズレンとは簡単に言うと心地良い感覚刺激を提供し、それを楽しみながらリラックスしてもらう活動の事だそうです。100円ショップにある材料でもスヌーズレン装置が作れるようなのでいくつか試して活用したいと思いました。皆さんもぜひインターネットでスヌーズレンと調べてみてください！(重田)

県知協新任職員研修

11月10日、県知協新任職員オンライン研修に重田・関・長瀬で参加しました。今回、講師の大内秀之さんは両下肢機能全廃の障がいがあり、大内さんが生まれてからの経験を元に色々な可能性について話してくださいました。その中で人と人の繋がりや誰も存在を否定せず、応援し合えるような人生を今後も作っていきたくて仰っていました。今回の研修を受け支援の中でも利用者さんの可能性(挑戦すること)を見つけること、利用者さんが何をしたいのかを汲み取ることができる支援者になりたいと強く感じました。(長瀬)



納豆工房 なっとこちゃん

ふれあいフェスタ&うたごえ祭典

11月6日(日)に高砂市文化保健センターで開催された「高砂市社協ふれあいフェスタ」と加古川市民会館で開催された「兵庫のうたごえ祭典」に参加してきました！

高砂市社協ふれあいフェスタではあかりの家の職員と一緒に販売を行いました。さり織りの魅せ方が上手なディスプレイで、とてもいい勉強になりました！

また、お客様から「服がかわいい！」となっとこちゃんTシャツを褒めていただきとても嬉しかったです！(荻内)



《12月予定》

12/14は工賃支給日で16時終了。12/2と12/16は会議日で15時終了です。

12/20クリスマス会(昼休憩を兼ねて2時間ほど予定しています。ビンゴもあるよ！！終了時間は通常通り16時です。)

年末は12月29日(木)まで作業。年始は1月4日(水)から作業です。



総勢50名の見学会!!



11月8日東はりま特別支援学校高等部の1年生がワークホーム高砂の現場見学に来られました。生徒36名、付き添いの先生方が14名、計50名の大所帯だったので混乱も予想されましたが、皆さん落ち着いておられ、大きな混乱もなく真剣に工場の説明を聞いてくださいました。作業体験では防水シートを畳んでいただき、「難しい」などの声も聞かれましたが、一生懸命取り組んでおられました。今回の見学が少しでもいい経験になればと思います。(野村)